

# 投資家向け説明会

## 2022年3月期 第1四半期

ソフトバンク株式会社

2021年8月4日

## (免責事項)

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## (本資料上記載されている数値の定義について)

本資料上記載されている数値の定義についてはデータシートをご参照ください。

- 売上高・営業利益はともに前期比増加、純利益は微減
- 営業利益・純利益の通期計画に対する進捗率は約30%と順調
- 通信料値下げ影響下のコンシューマ事業減益を  
法人事業の成長が上回る
- PayPay決済取扱高は3ヶ月で1.2兆円、前期比65%増

## 売上高・営業利益 前期比増加。通期予想に対し順調に進捗

(億円)	FY20 Q1	FY21 Q1	増減	増減率	進捗率 (通期予想)
売上高	11,726	13,566	+1,839	+15.7%	24.7% (55,000)
調整後 EBITDA*1	4,538	4,700	+162	+3.6%	27.2% (17,300)
営業利益	2,799	2,831	+32	+1.1%	29.0% (9,750)
純利益*2	1,521	1,510	-12	-0.8%	30.2% (5,000)

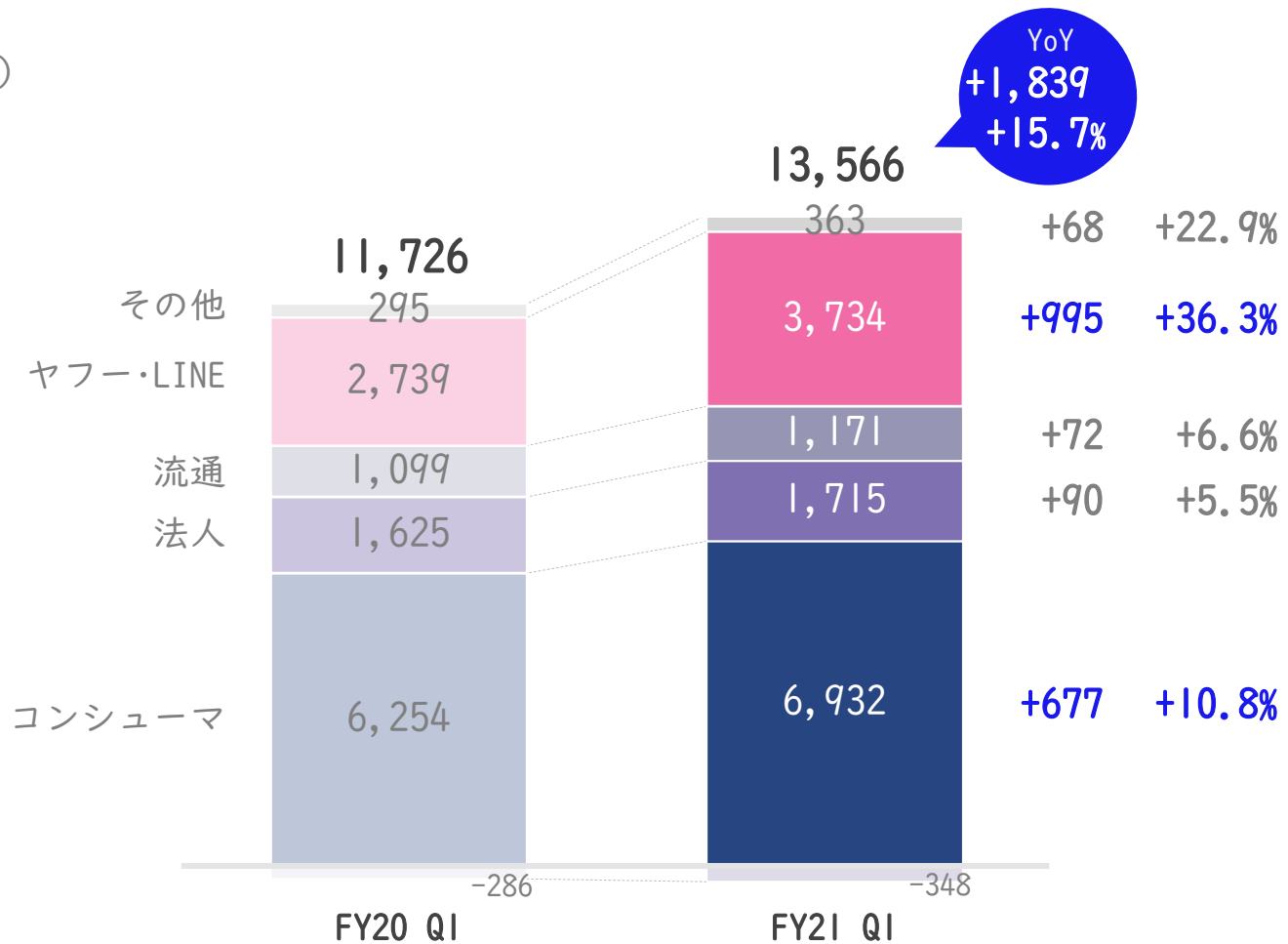
- FY21通期の売上高、調整後EBITDA、営業利益、純利益はいずれも4年連続で過去最高を更新の予想

\*1：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

\*2：純利益は、親会社の所有者に帰属する純利益 (以下本編内において同様)

# 全セグメント増収

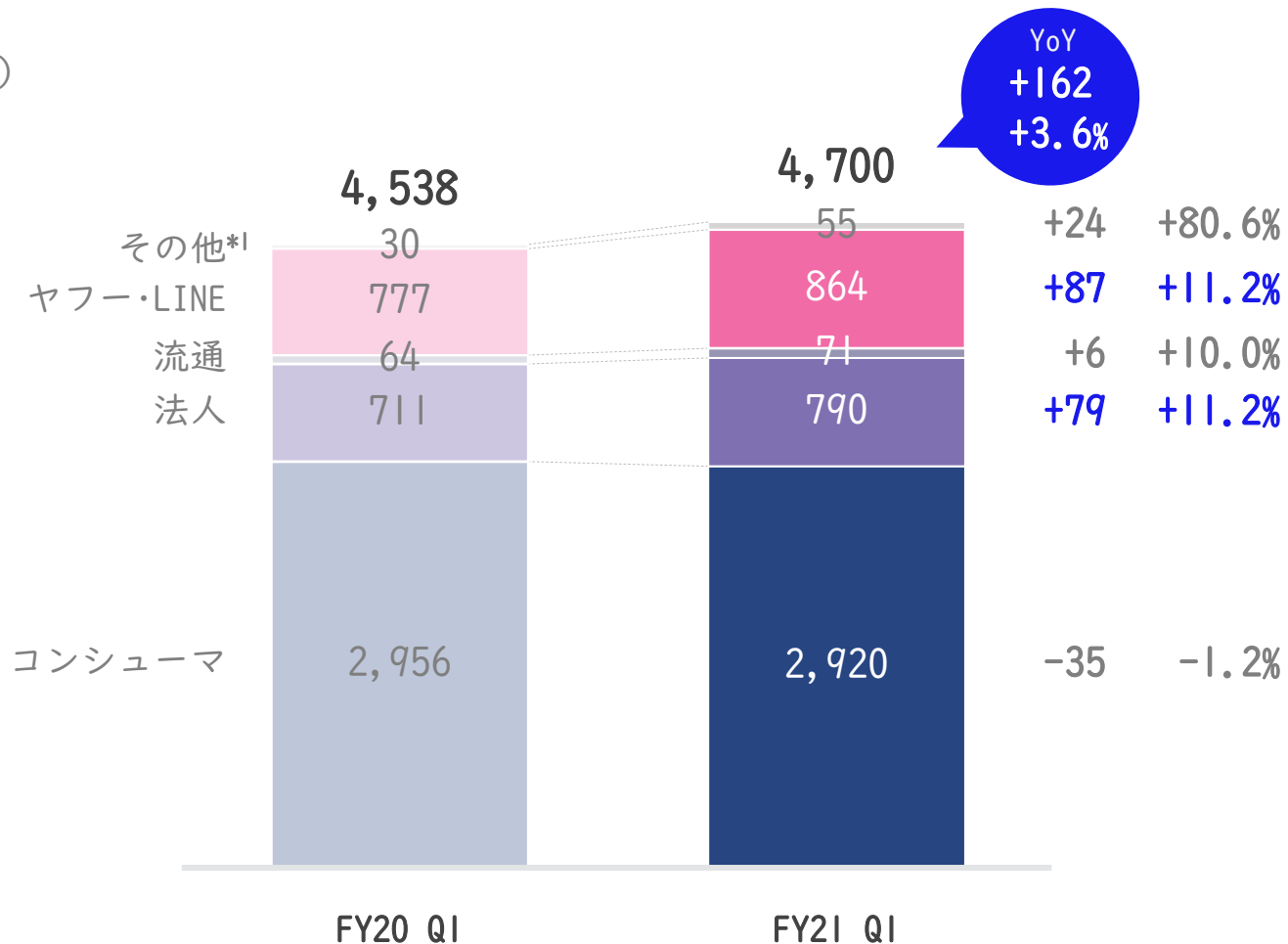
(億円)



- FY18、FY19、FY20(通期)に続き、FY21Q1も全セグメント増収
- ヤフー・LINEとコンシューマの増収が全体をけん引
- FY21よりZホールディングス(株)(以下「ZHD」)を示すセグメント名称を「ヤフー・LINE」へ変更

## ヤフー・LINEおよび法人が増益に貢献

(億円)



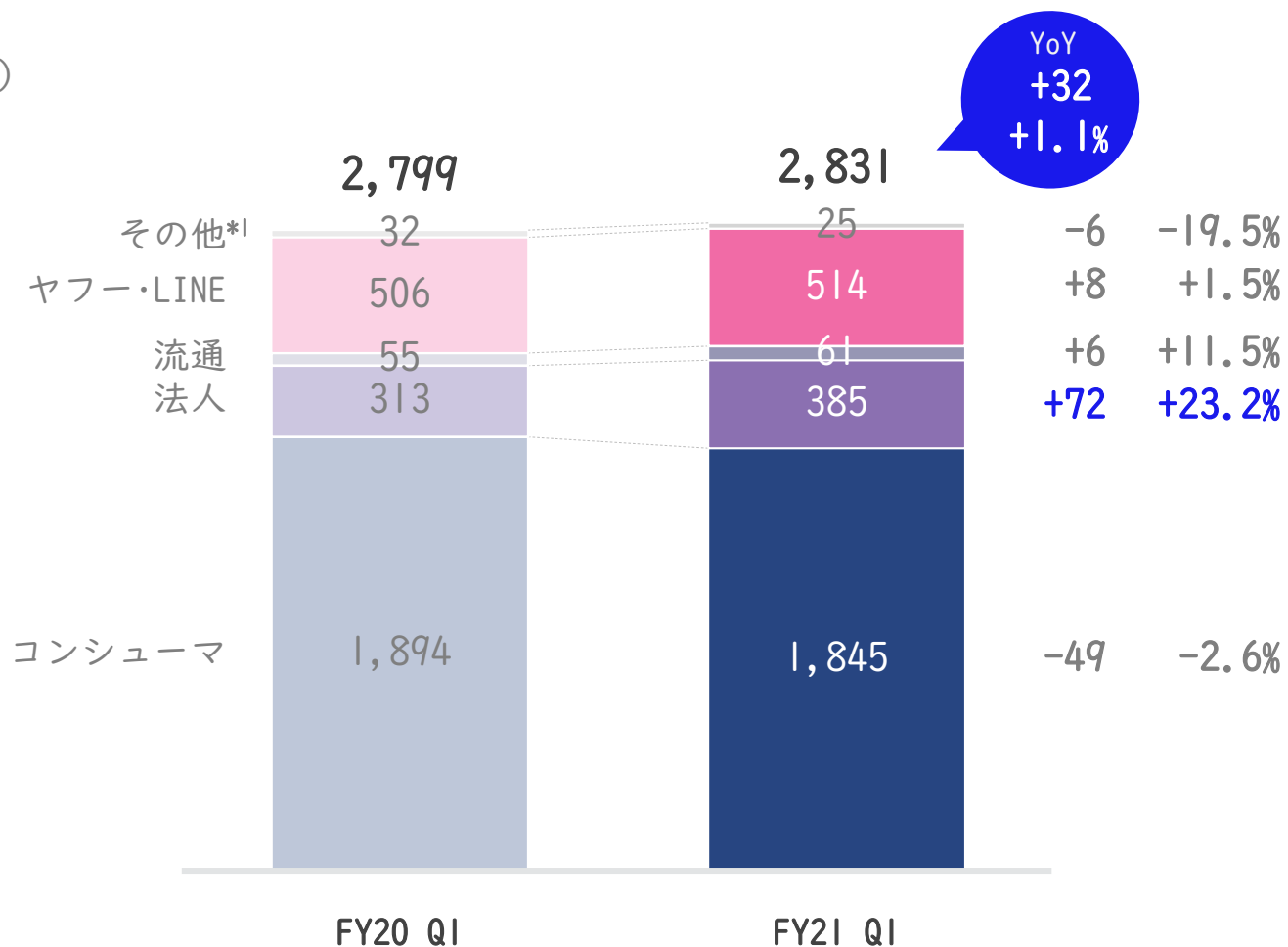
- 通信料値下げの影響はあるも、ヤフー・LINEおよび法人など他事業が成長し増益

\*調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

\*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY20Q1:-24億円、FY21Q1:4億円)

## 法人事業がけん引し増益

(億円)



- 通信料値下げの影響でコンシューマの利益は減少するも、法人の成長が上回り増益
- ヤフー・LINEは、LINEの子会社化に伴い識別した無形資産の償却費および株式報酬費用62億円を吸収し増益

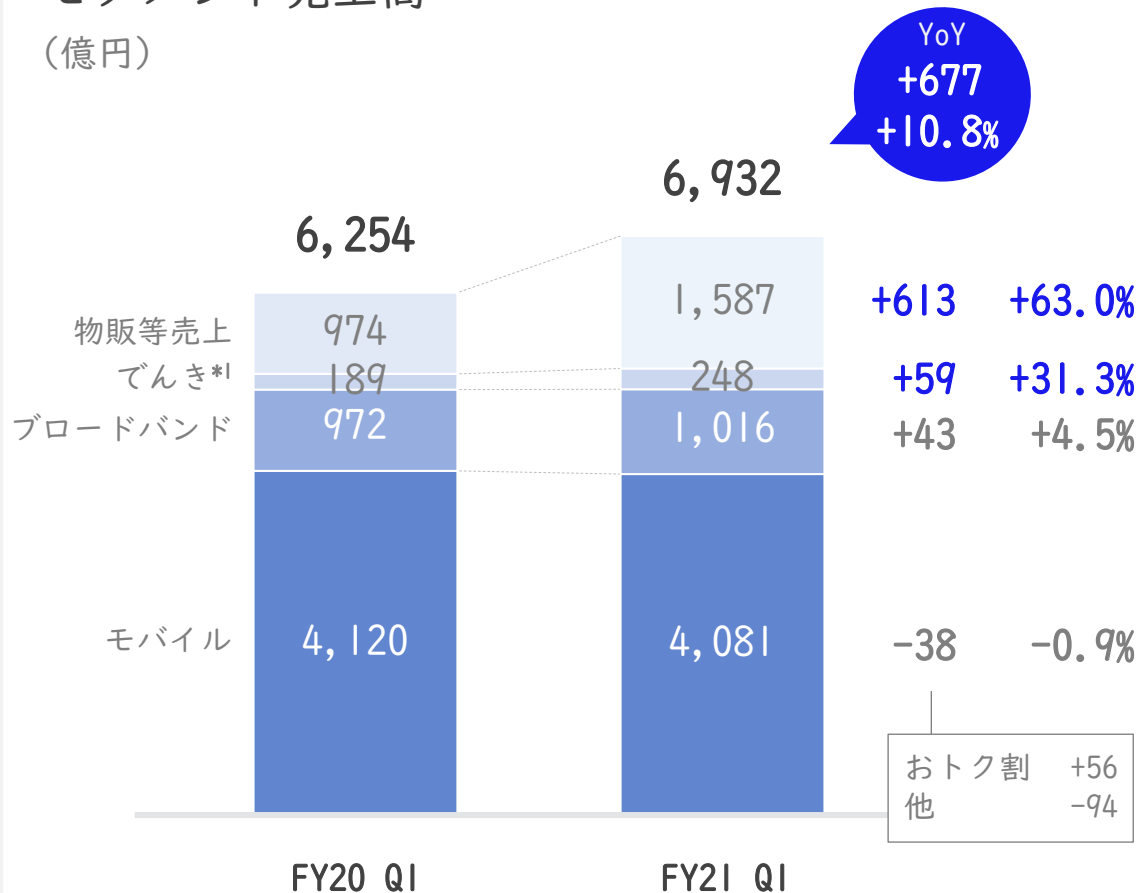
\*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY20Q1:-6億円、FY21Q1:2億円)

# 営業回復で端末販売と販売関連費が増加、通信料金値下げ影響で減益

(昨年はコロナ禍の影響大)

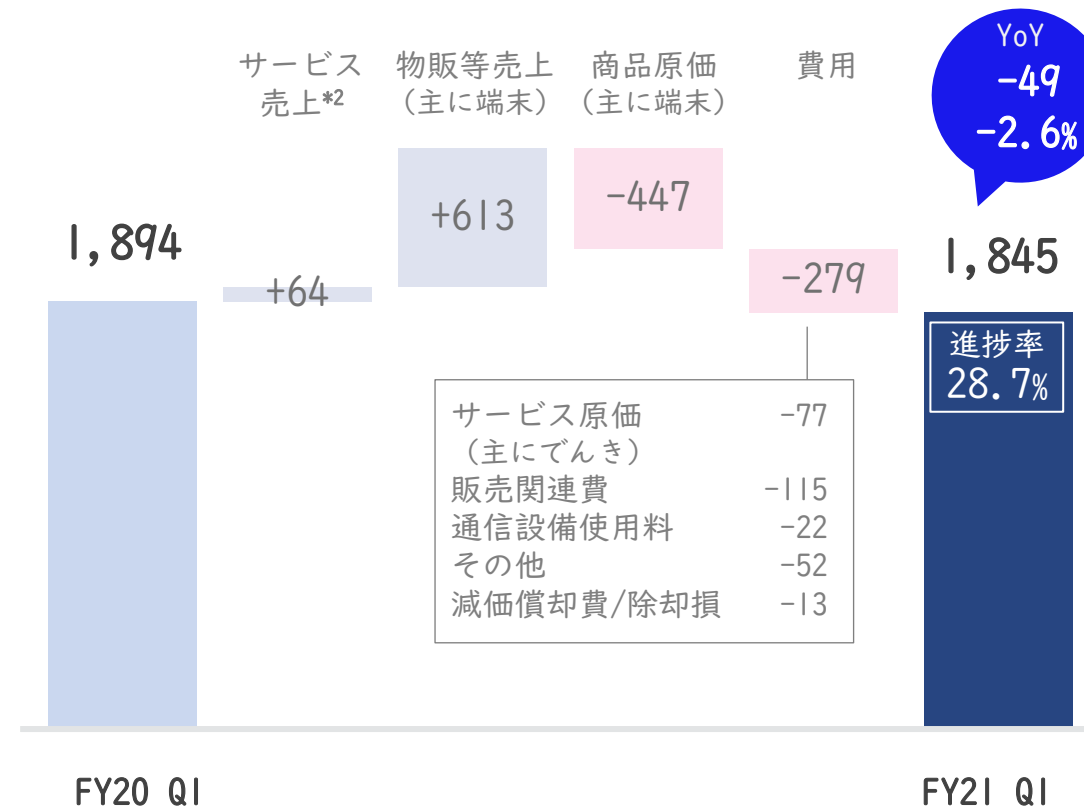
## セグメント売上高

(億円)



## セグメント利益

(億円)



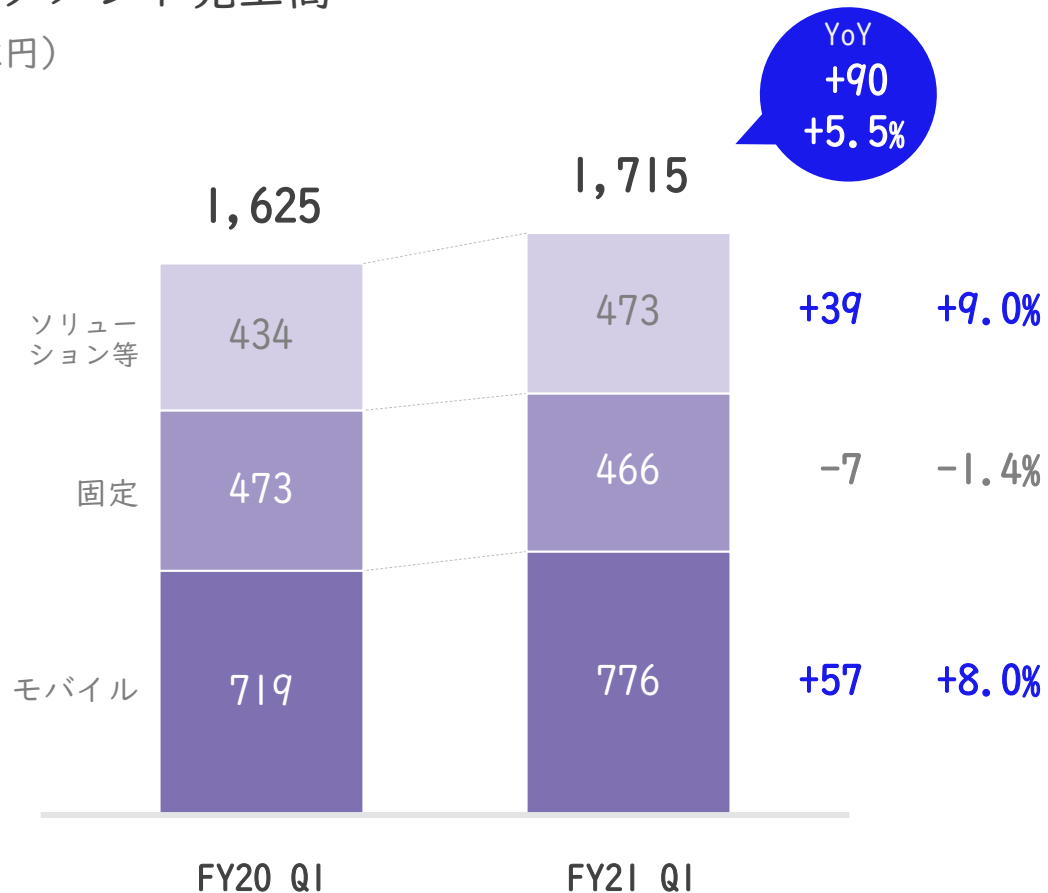
\*1: FY21より再生可能エネルギー発電促進賦課金に係る取引価格を売上高に含まない処理へ変更。FY20Q1をFY21と同基準で計上した場合の売上高は166億円(影響23億円)

\*2: サービス売上はモバイル、ブロードバンド、でんきの合算

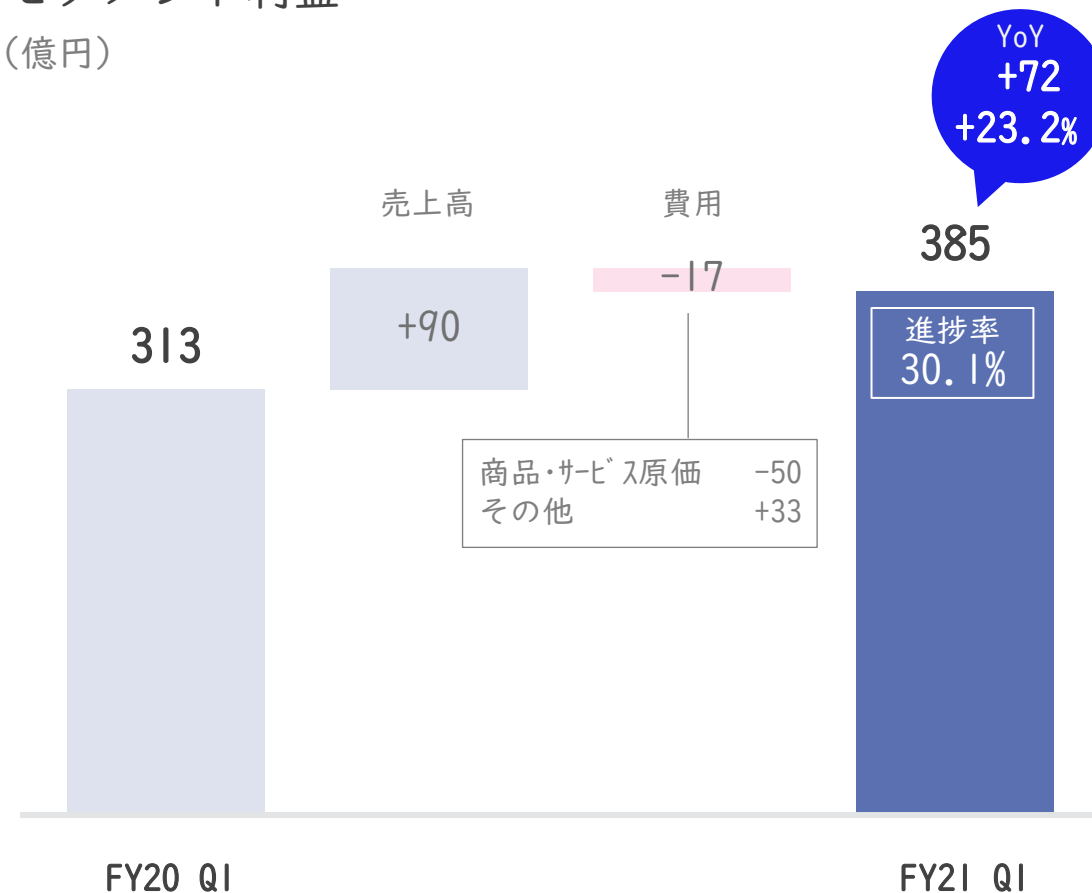


# モバイル・ソリューション等の伸びにより、大幅増益

セグメント売上高  
(億円)

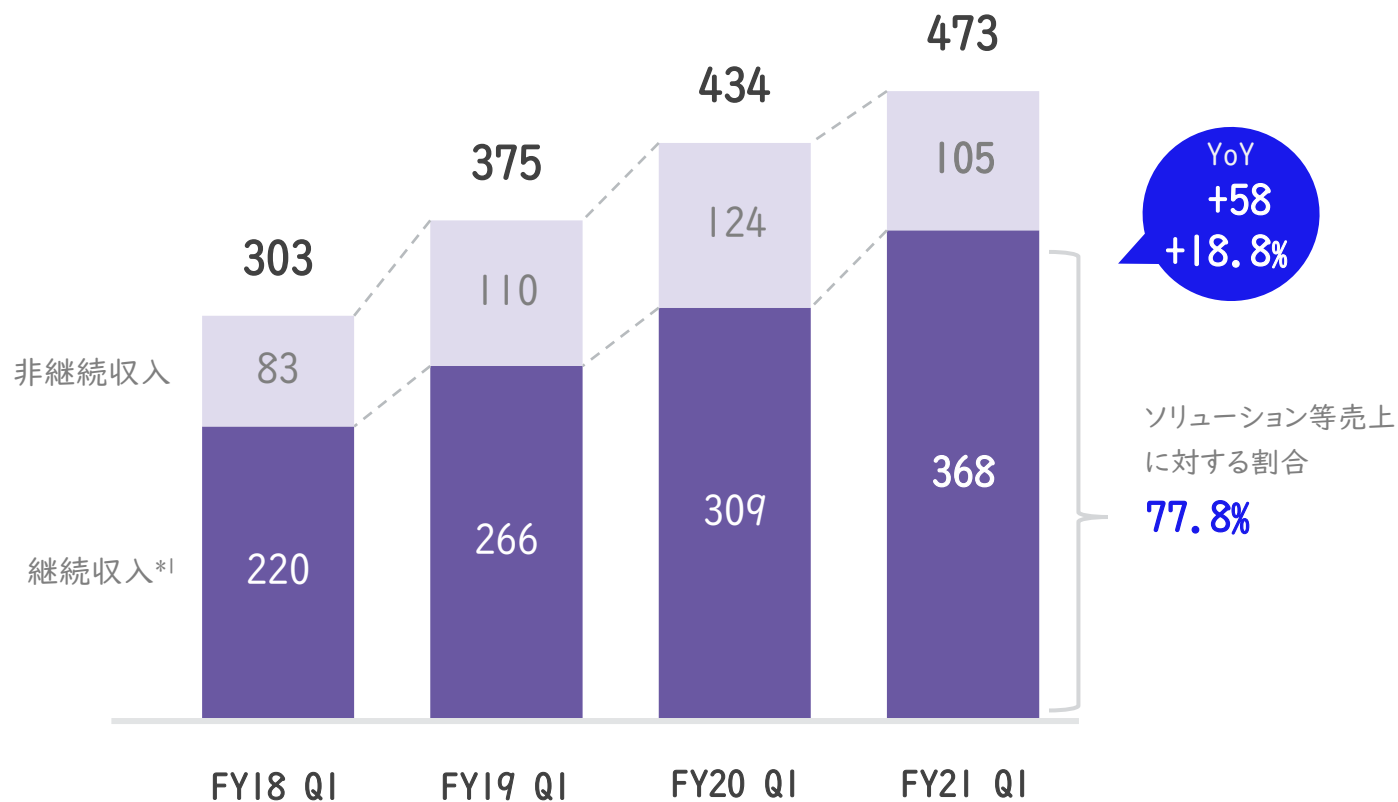


セグメント利益  
(億円)



## 継続収入が順調に増加し、安定的な業績拡大に貢献

(億円)

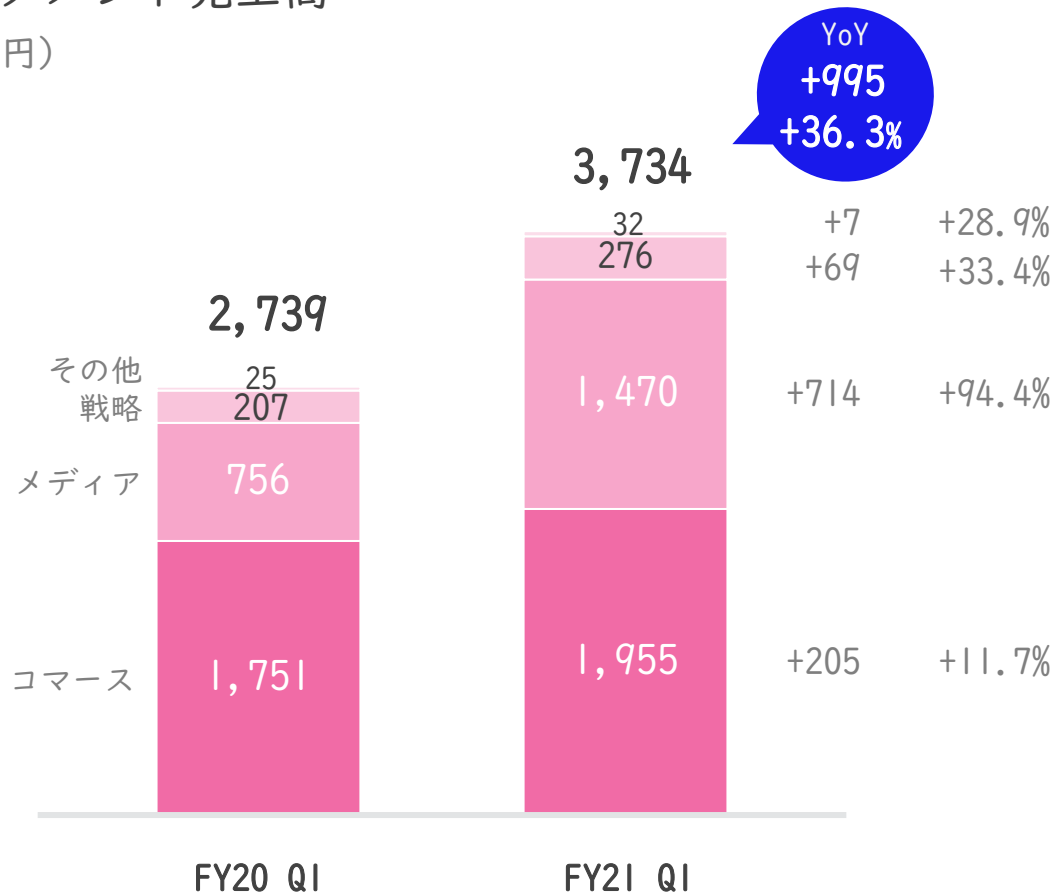


- ソリューション等売上の7割以上が継続収入
- クラウド、セキュリティ、IoT、デジタルマーケティングなどの継続的な収入の拡大を推進

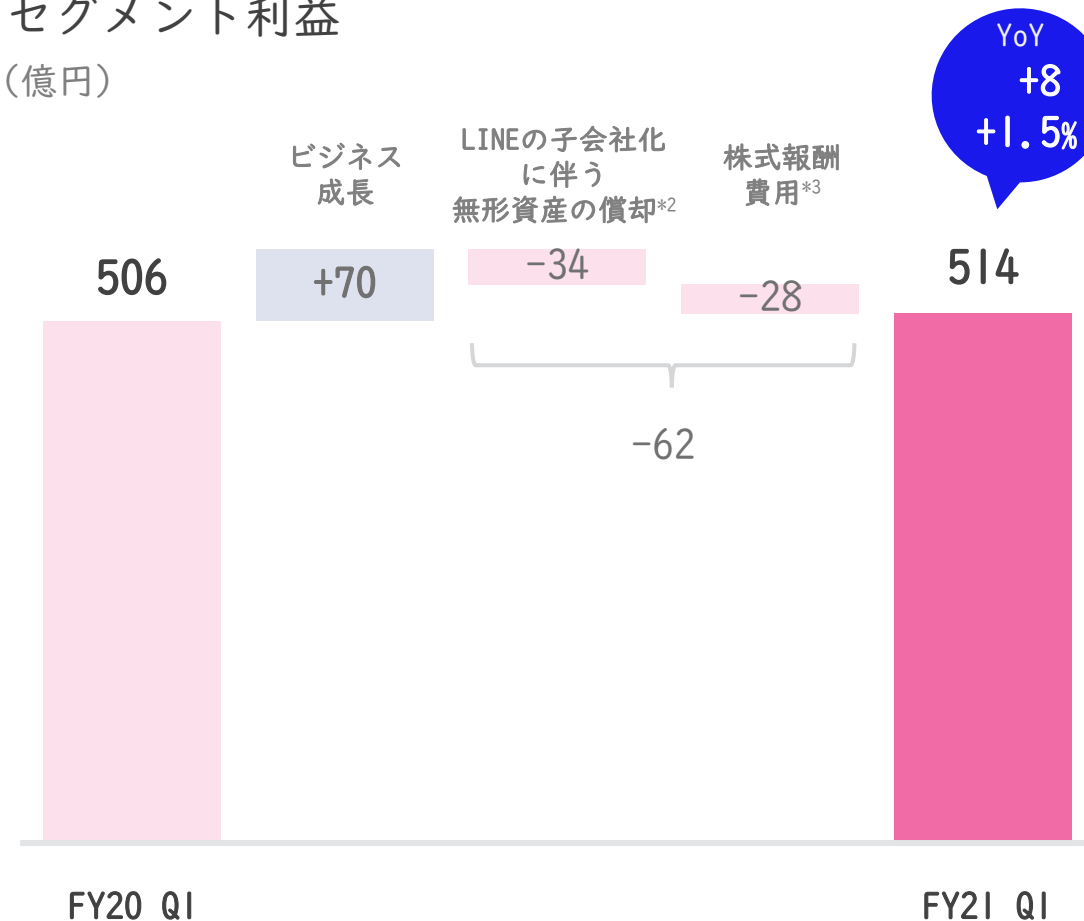
\*1: クラウド・セキュリティ・IoTなどのうち継続的な収入、データセンター・デジタルマーケティングなどの収入

# LINEの子会社化に伴う会計上の費用増を吸収し利益は微増

セグメント売上高\*1  
(億円)



セグメント利益  
(億円)



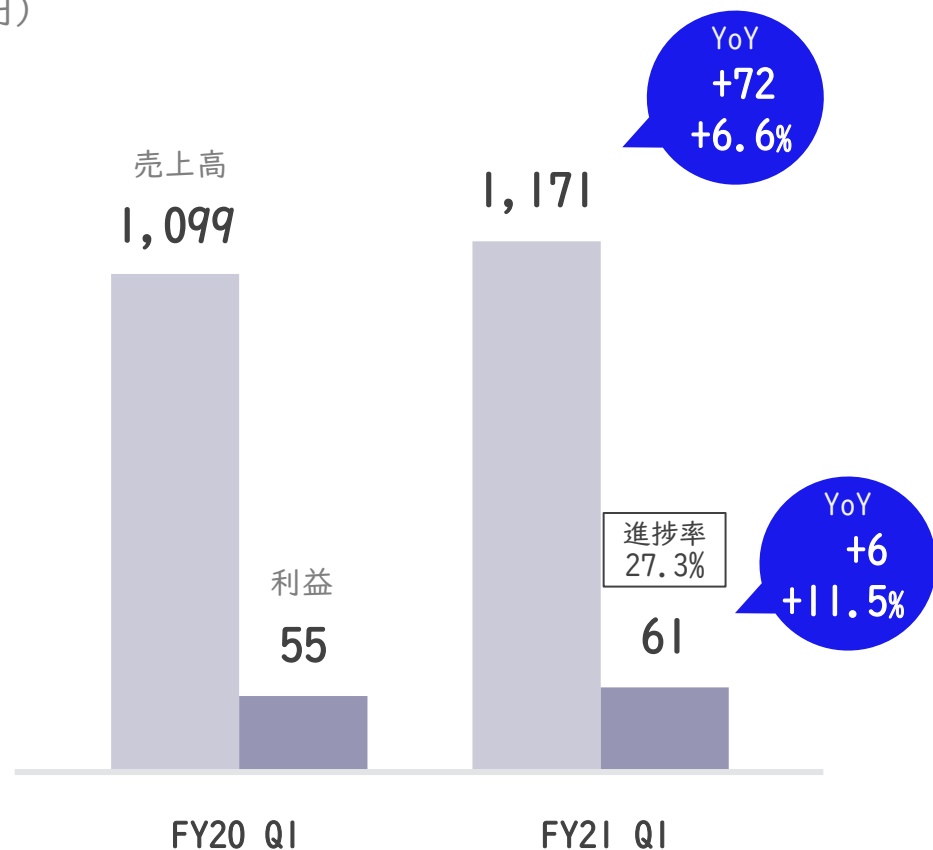
\*1: 2021年3月のZHDとLINEの経営統合に伴う事業管理区分の変更に伴い、FY21Q1より「戦略」を追加し、各サービスの区分を見直し、FY20に遡って修正を反映

\*2: LINEの子会社化に伴い識別した無形資産の償却費 \*3: LINEの子会社化に伴いZHDが発行したストック・オプションに関する株式報酬費用

## 流通事業およびSBペイメントサービスなどが順調

### 流通事業 売上高・利益

(億円)



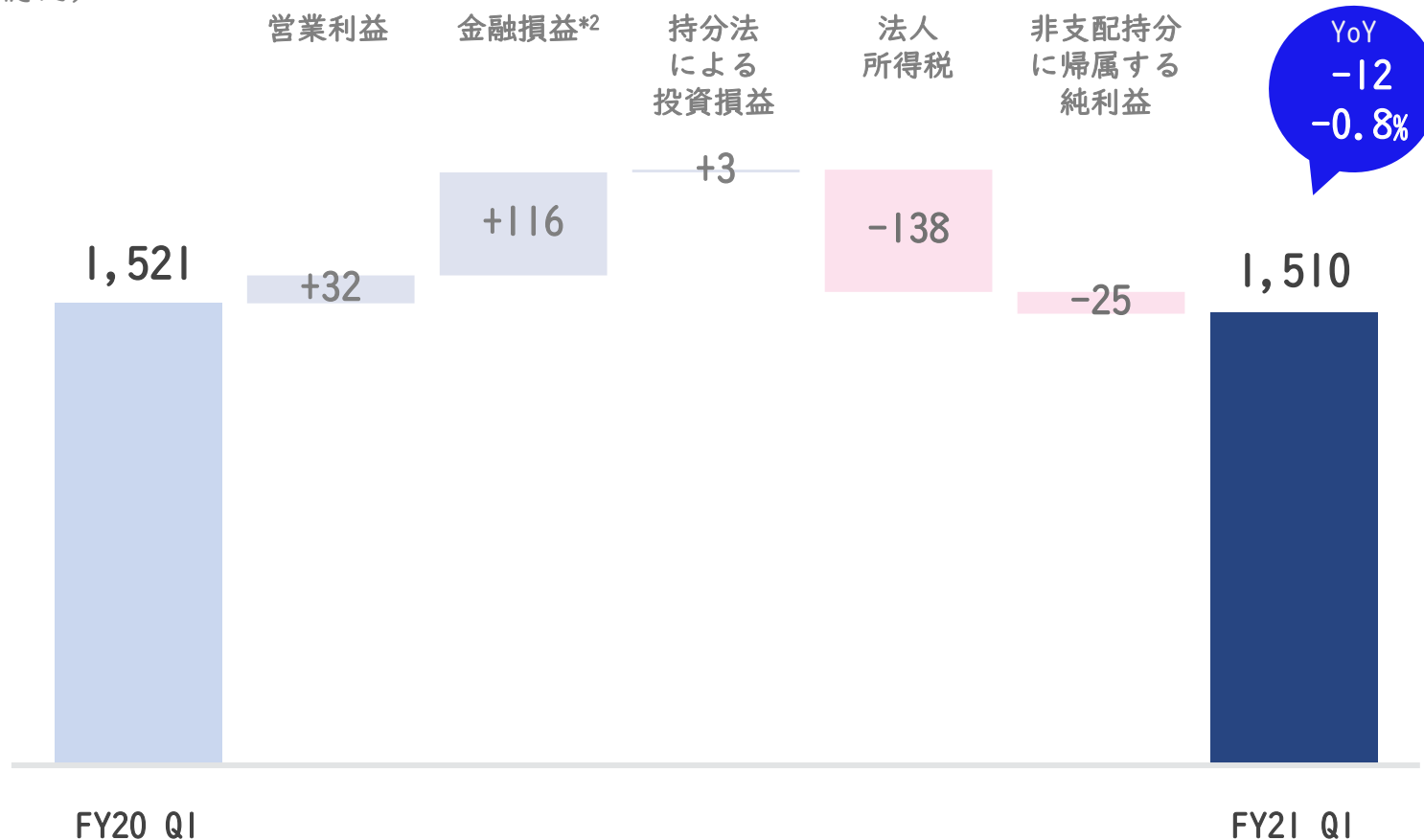
### その他事業 利益

(億円)

	FY20Q1	FY21Q1	増減	増減率
SB <sup>ペイメントサービス</sup> *1	17	22	+4	+24%
SB <sup>プレイヤーズ</sup> *1	38	27	-11	-29%
SB <sup>テクノロジー</sup> *1	7	9	+2	+37%
アイテムメディア	4	6	+2	+65%
上記以外の子会社等	-24	-33	-9	-
その他（調整含む）	-9	-5	+5	-
合計	32	25	-6	-19%

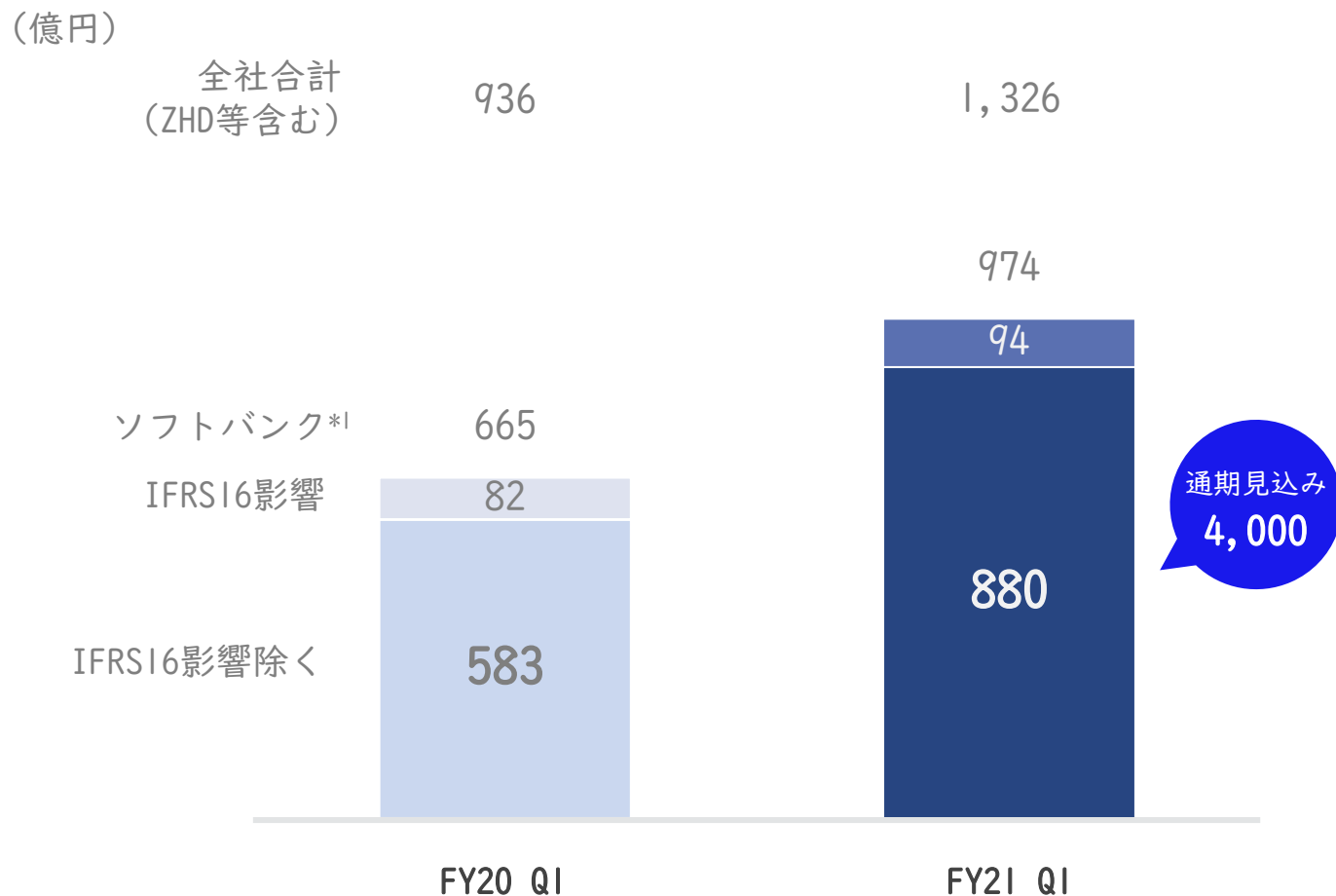
## 営業利益・金融損益は増加、法人税増加とZHDの持分低下影響により微減

(億円)



- FVTPL金融資産\*1の評価益などにより金融損益\*2が+116億円
- 税引前利益増に加え、LINE経営統合および投資に係る一過性要因により法人所得税が-138億円
- ZHDとLINEの経営統合に伴いZHDに対する経済的持分が12%低下(44.6% ⇒ 32.6%)したことによる影響などが-25億円

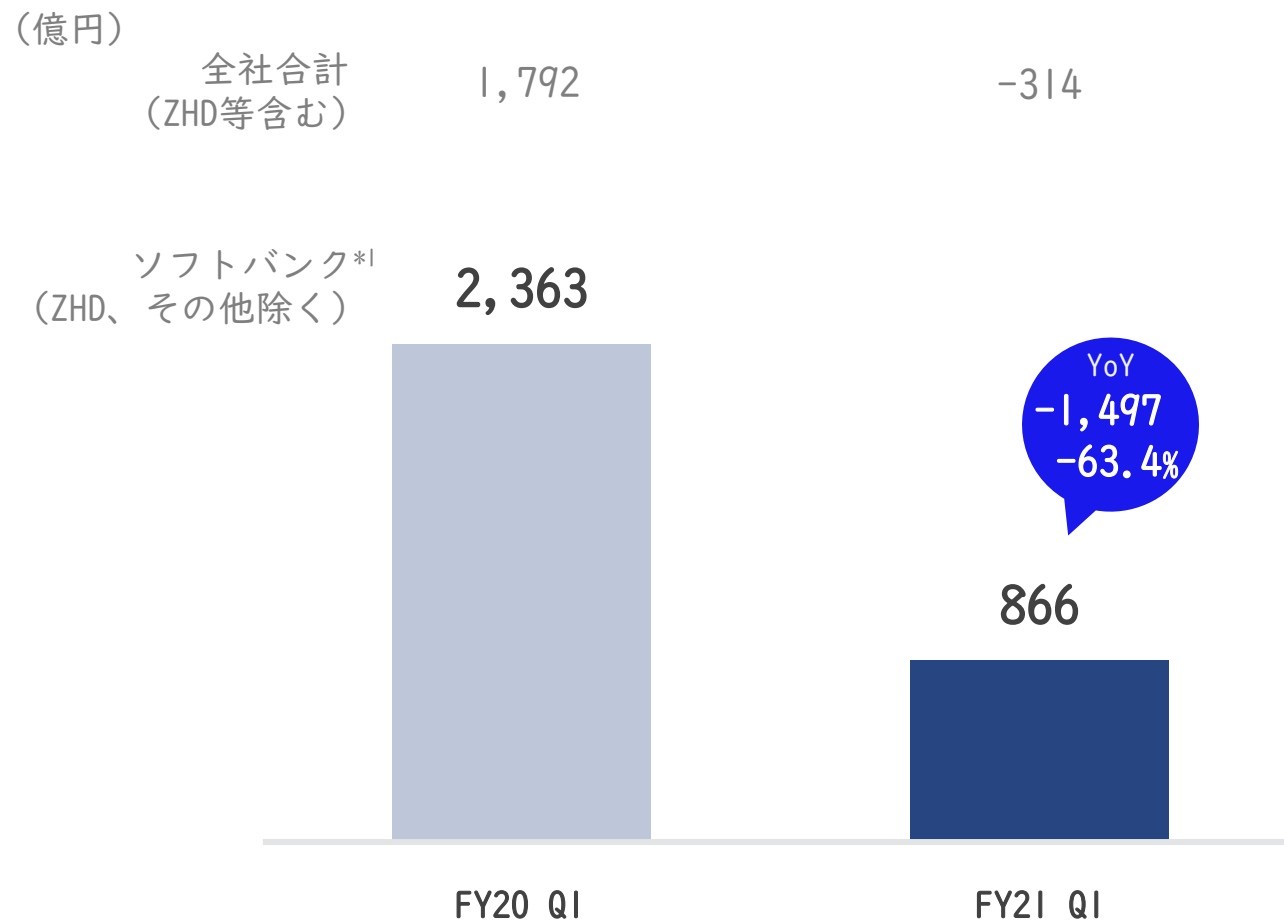
## 設備投資の進捗は計画通り



- 5G設備投資の拡大により前期比増加
- 通期見込みに対する進捗率は22%、計画通りに推移

\*1：検収ベース。ZHDの影響、法人レンタル端末、他事業者との共用設備(他事業者負担額)を除く

## FY20Q1の債権流動化影響等により前期比マイナス



- 前期コロナ対応のため積極的に債権流動化を促進した反動 約-1,100億円 (FY19期末BSスリム化の影響も有)
- 法人税支払増 約-290億円 (利益増に加えて、LINE経営統合 約-195億円)
- 5G設備投資拡大等による設備支出増 約-130億円

\* 調整後FCF = FCF + (割賦債権の流動化による調達額 - 同返済額)

\*1: ソフトバンクはAホールディングス(以下AHD)およびZHDのFCF、役員への貸付などを除き、ZHDからの受取配当(FY20Q1:188億円)を含む

## 配当支払いによる季節要因で、資本の総資産に対する割合は21.7%

(億円)

	21年3月末	21年6月末	増減
現金及び現金同等物	15,849	17,241	+1,392
その他	106,418	106,120	-298
<b>資産合計</b>	<b>122,267</b>	<b>123,361</b>	<b>+1,094</b>
有利子負債	56,926	62,279	+5,353
その他	37,834	34,273	-3,561
<b>負債合計</b>	<b>94,760</b>	<b>96,552</b>	<b>+1,792</b>
親会社の所有者に帰属する持分	15,122	14,595	-528
非支配持分	12,385	12,215	-170
<b>資本合計</b>	<b>27,507</b>	<b>26,809</b>	<b>-698</b>
純有利子負債*1	40,204	44,215	+4,011
自己資本比率*2	12.4%	11.8%	-0.6%
資本の総資産に対する割合	22.5%	21.7%	-0.8%

- 現金及び現金同等物は、債権流動化や社債発行により増加
- 有利子負債は、短期ファイナンスの増加および1,000億円の社債発行により増加 (p17参照)
- 負債その他の減少-3,561億円は、販売施策の減少に伴い営業債務及びその他の債務が低下したことが主因
- 資本は、配当支払いにより減少

\*1：純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金

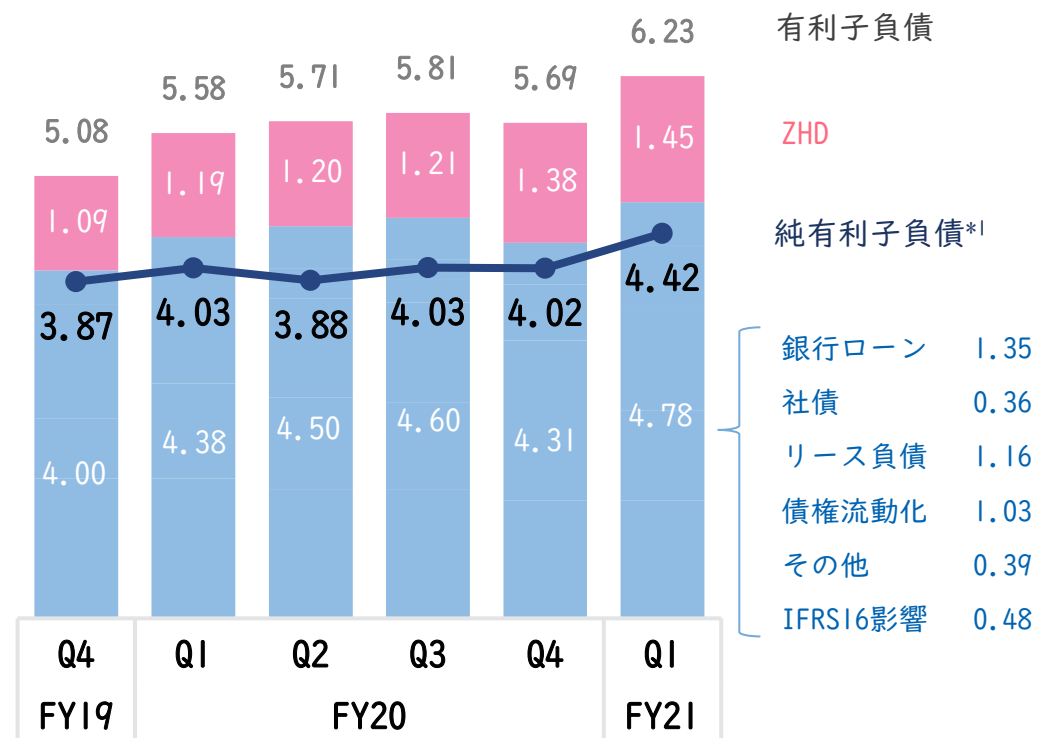
\*2：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産



# 法人税、配当支払い等の季節要因により純有利子負債は一時的に増加

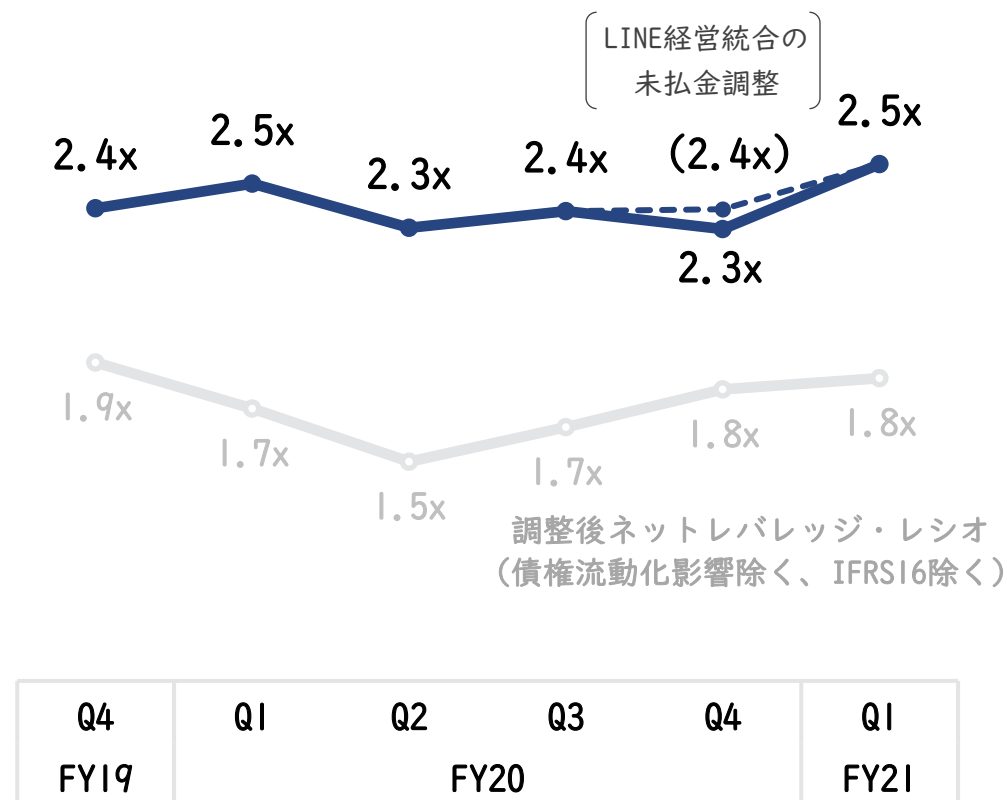
有利子負債・純有利子負債\*1

(兆円)



ネットレバレッジ・レシオ\*2

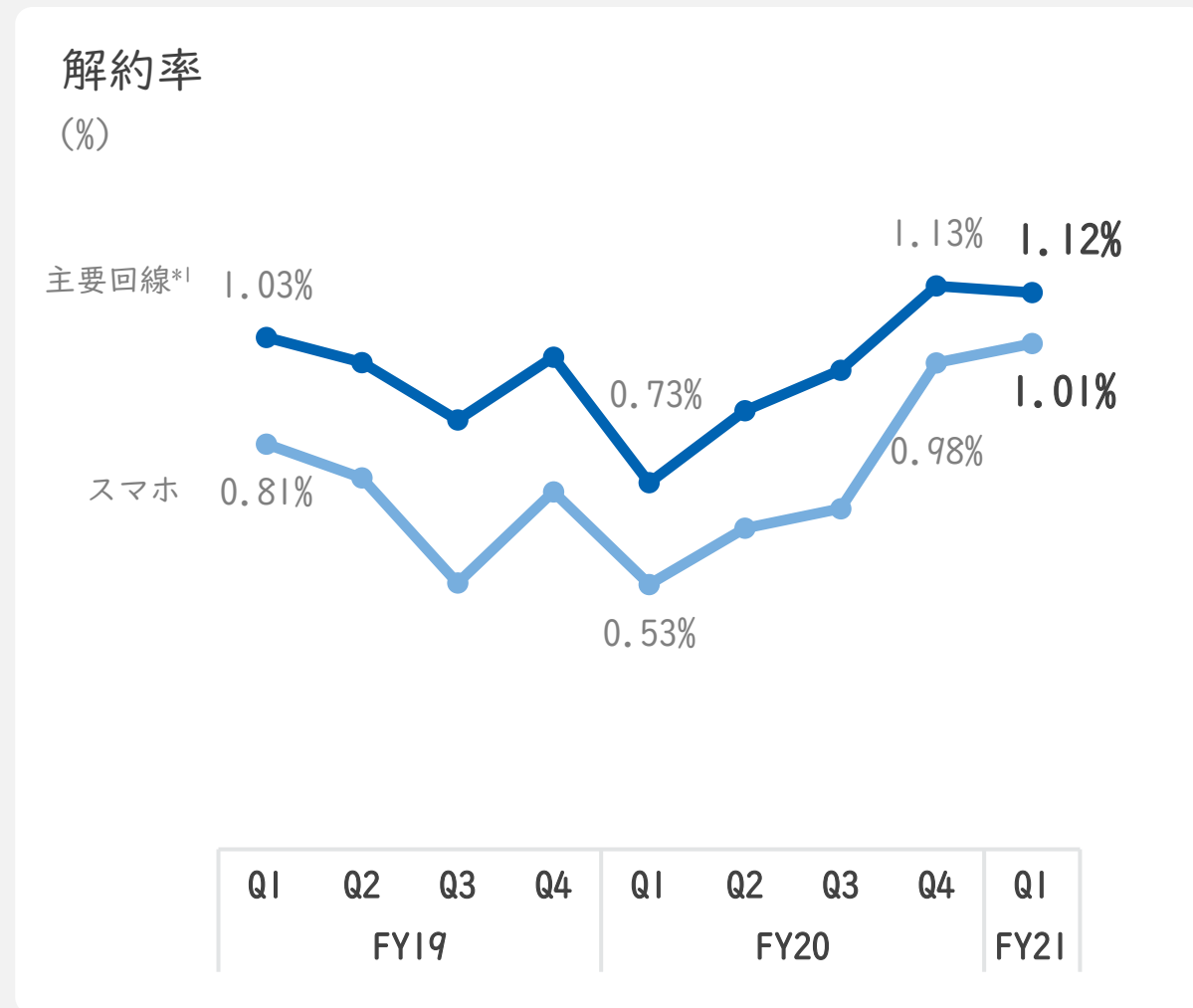
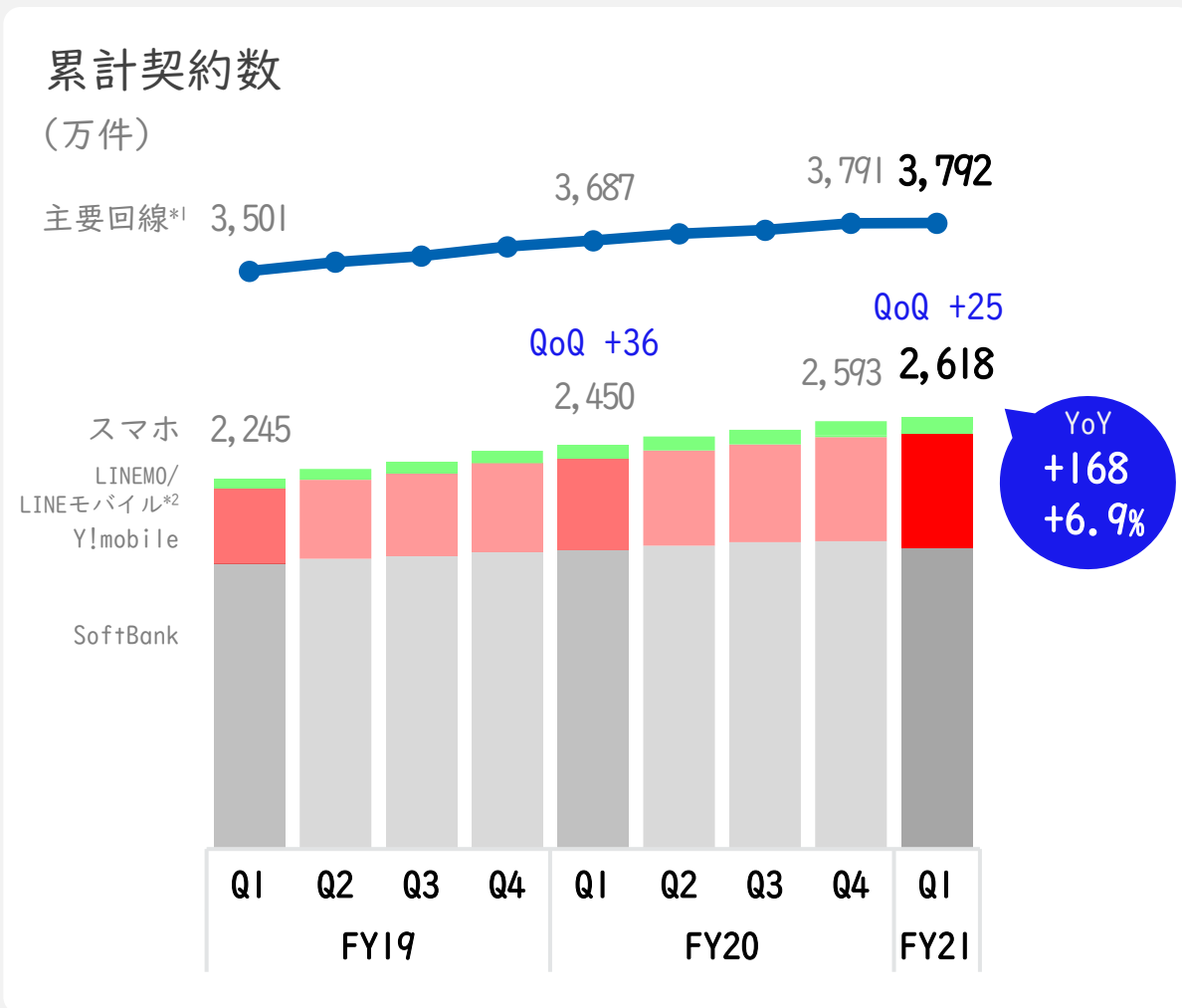
(倍)



\* 有利子負債(ZHD除く)の内訳はデータシートP.4参照  
 \*1: 純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金

\*2: ネットレバレッジ・レシオ = 純有利子負債 ÷ 調整後EBITDA (該当四半期の直近12ヶ月)

# 純増継続。解約率は各社新料金導入による市場の流動性拡大に伴い上昇

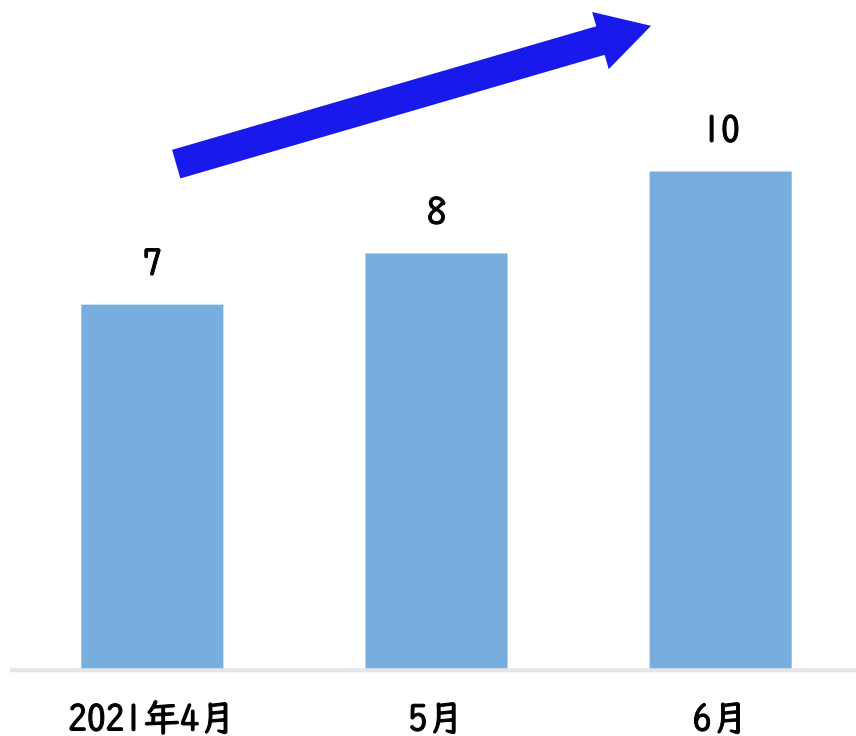


\*1：スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「おうちのでんわ」など

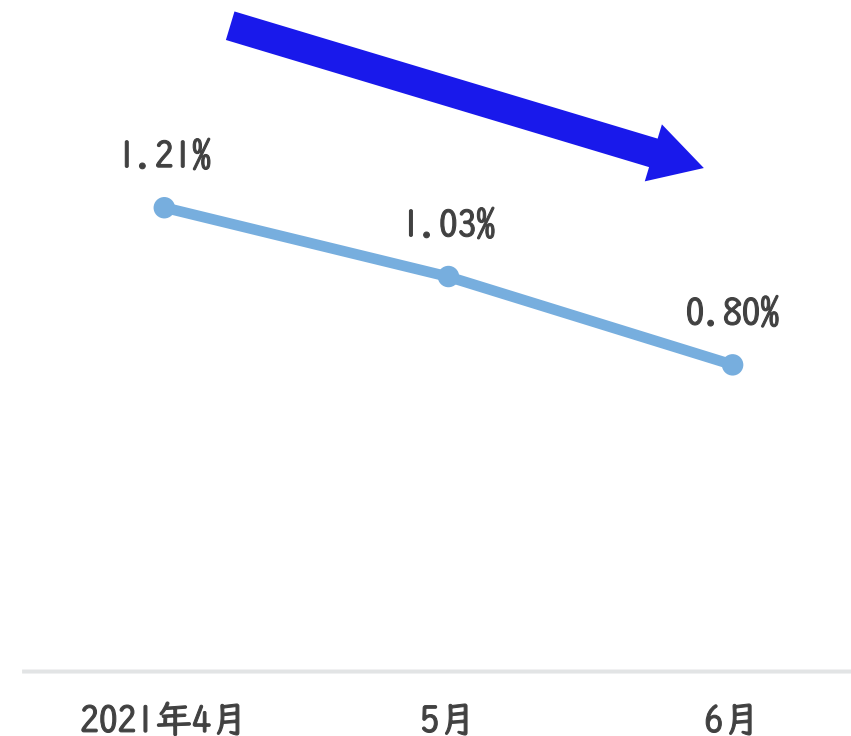
\*2：LINEモバイルとLINEMOの契約数を合算表示

## 月別では、スマホ純増・解約率ともに改善基調

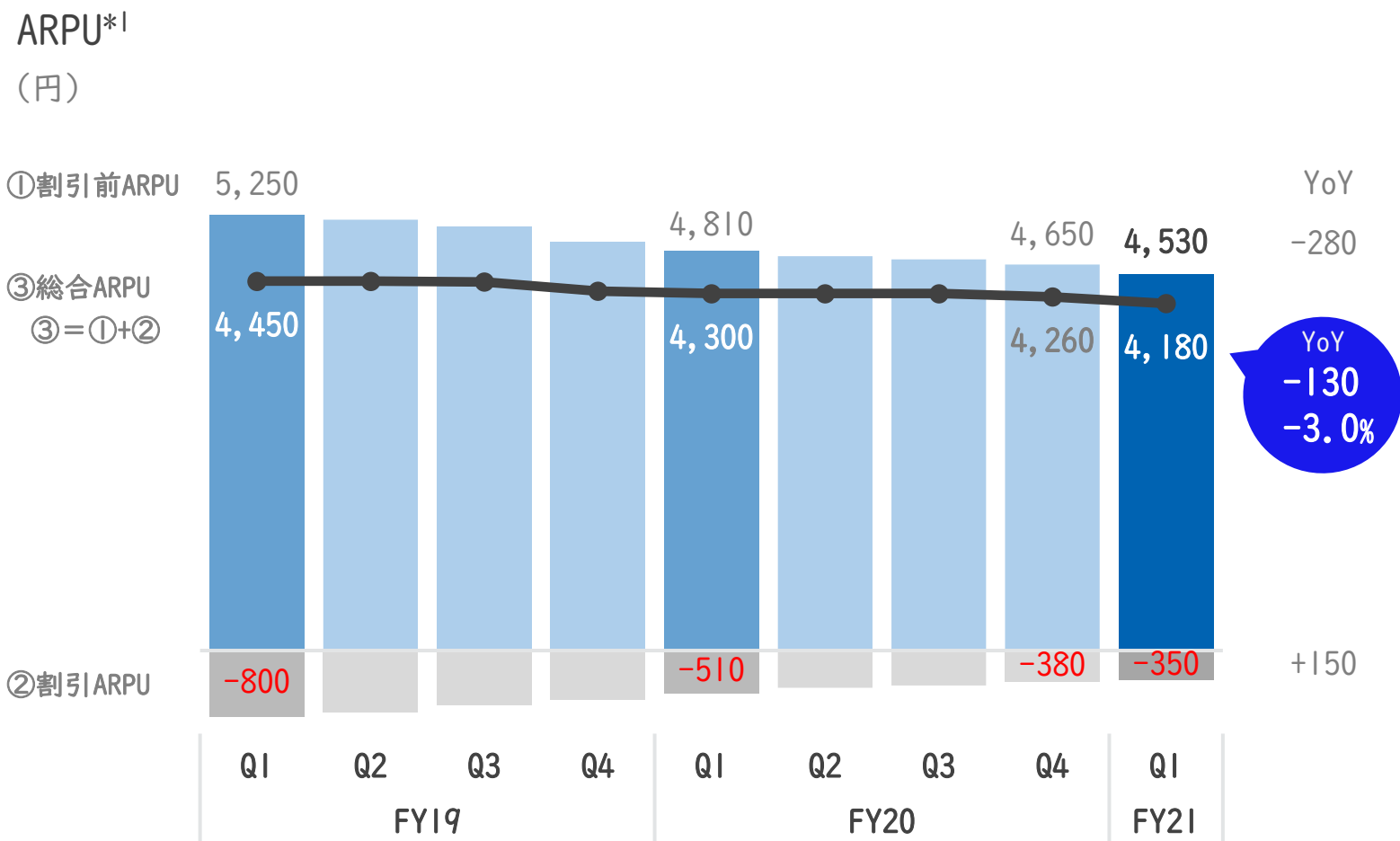
月別スマホ純増  
(万件)



月別スマホ解約率  
(%)



## 新料金プラン影響を含む構成比変化などにより、低下傾向が続く

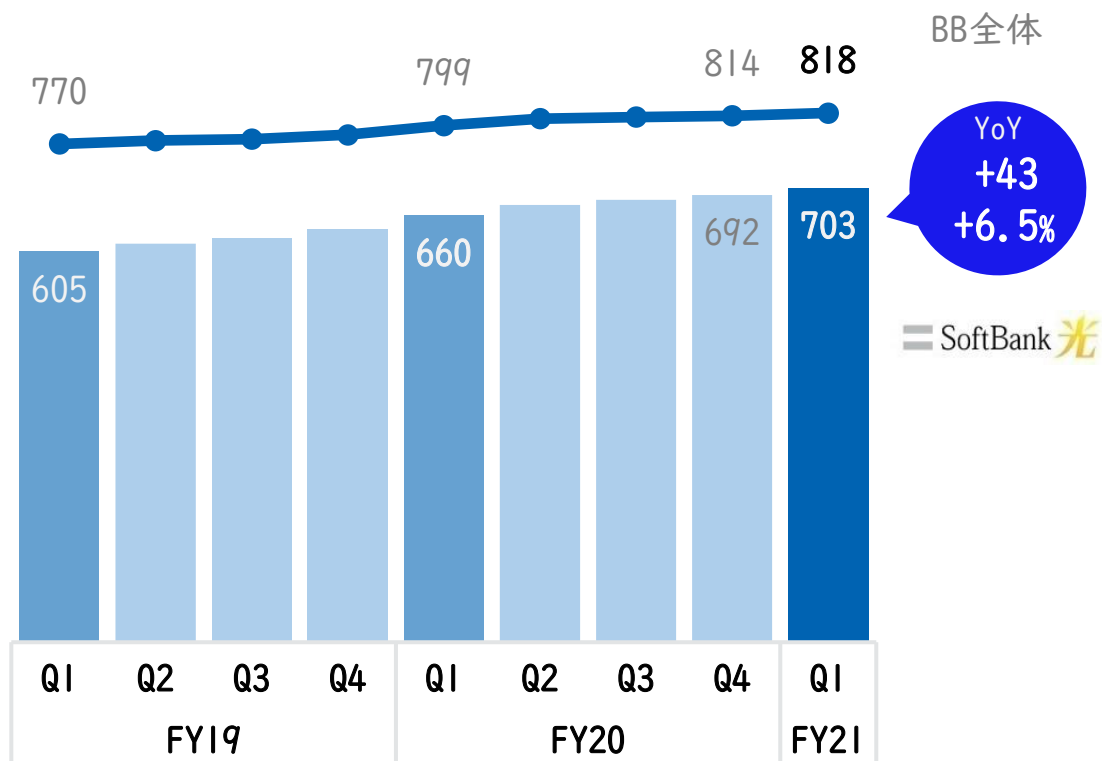


- 新料金プラン影響は約-100円：ブランド移行、同ブランド内の新料金プランへの変更、および新規ユーザーによる新料金プランの契約によるもの
- おトク割影響の減少もあるも、Y!mobile構成比増、スマホデビュープランの浸透などによりARPU低下
- 端末分離プランの浸透により、月月割の件数低下に伴う割引ARPUの改善は縮小

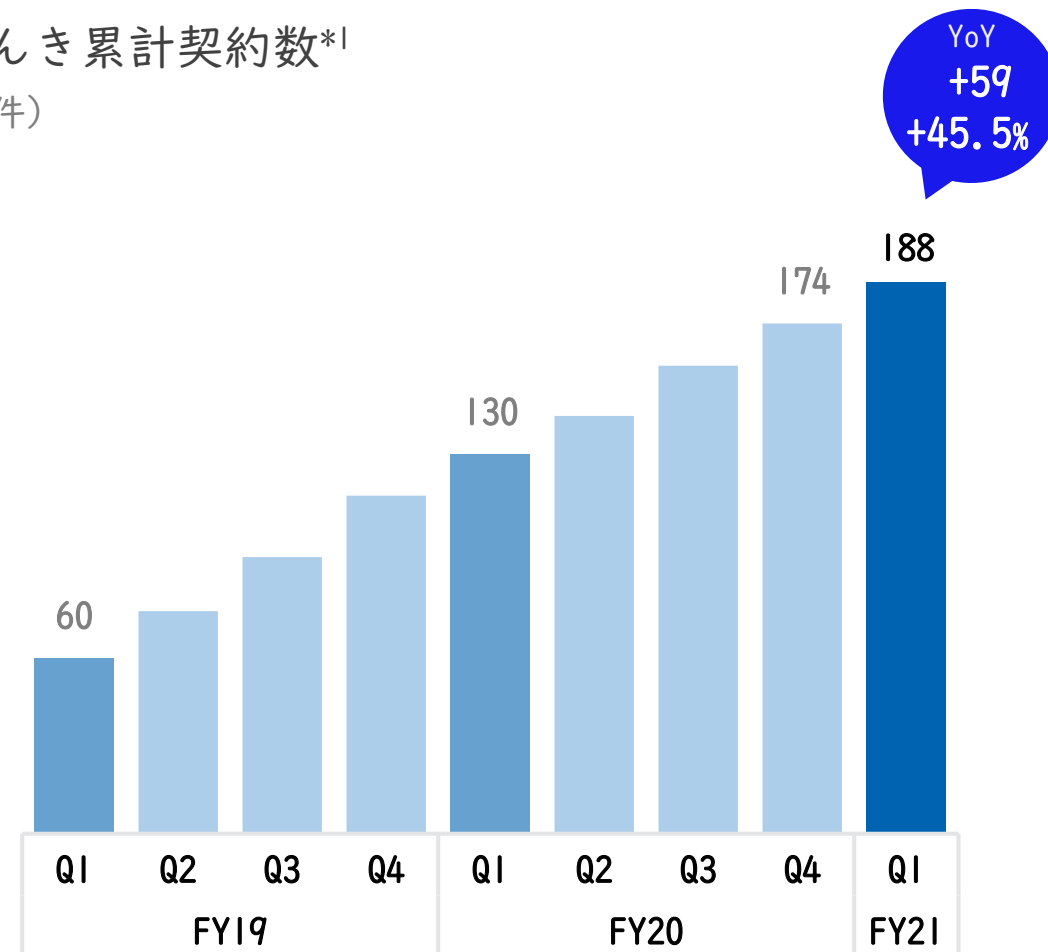
\*1：ARPU(Average Revenue Per User) = 1契約当たりの月間平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。ポイント等や端末購入サポートプログラムに係る通信サービス売上控除額はARPUに不算入

## ブロードバンドおよびでんきの契約数は順調に拡大

ブロードバンド(BB) 累計契約数(開通)  
(万件)



でんき累計契約数\*  
(万件)

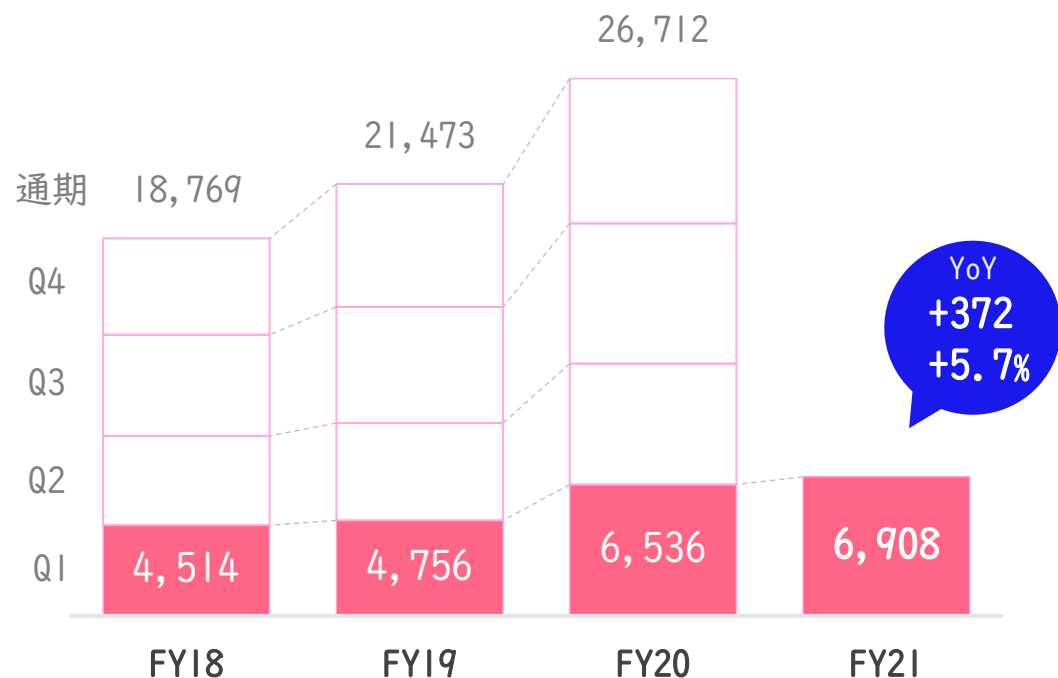


\*1：でんきは「おうちでんき」など、電力の売買・供給および売買の仲介サービス。2016年4月よりサービス開始。FY21Q1よりでんき契約数を開示

# ECは好調だった前期より成長。広告は広告主の需要回復等により拡大

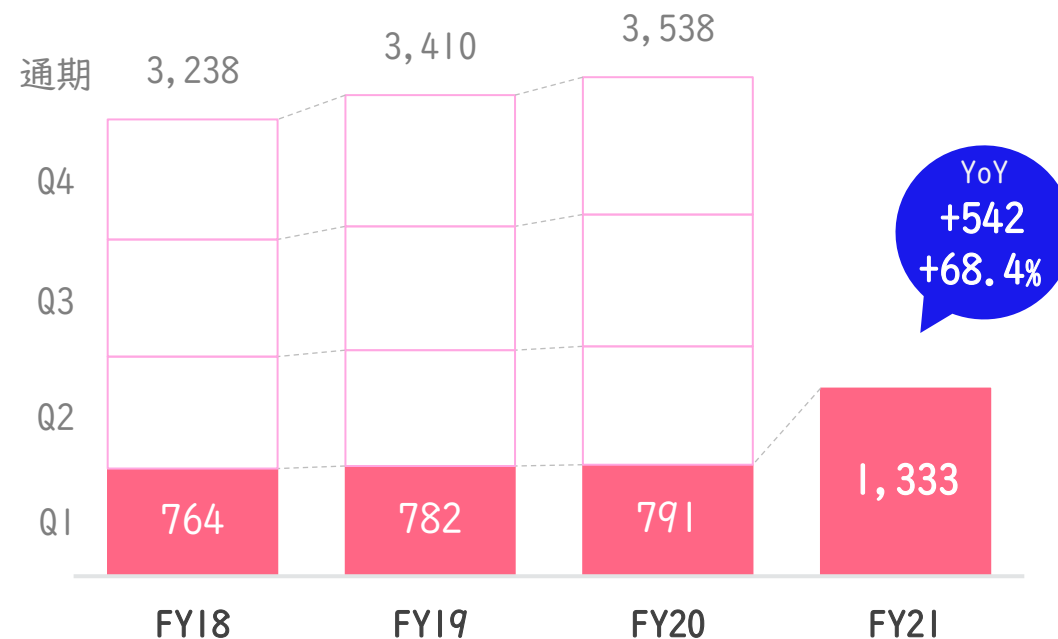
物販eコマース取扱高\*1

(億円)



全社広告関連売上収益\*2

(億円)



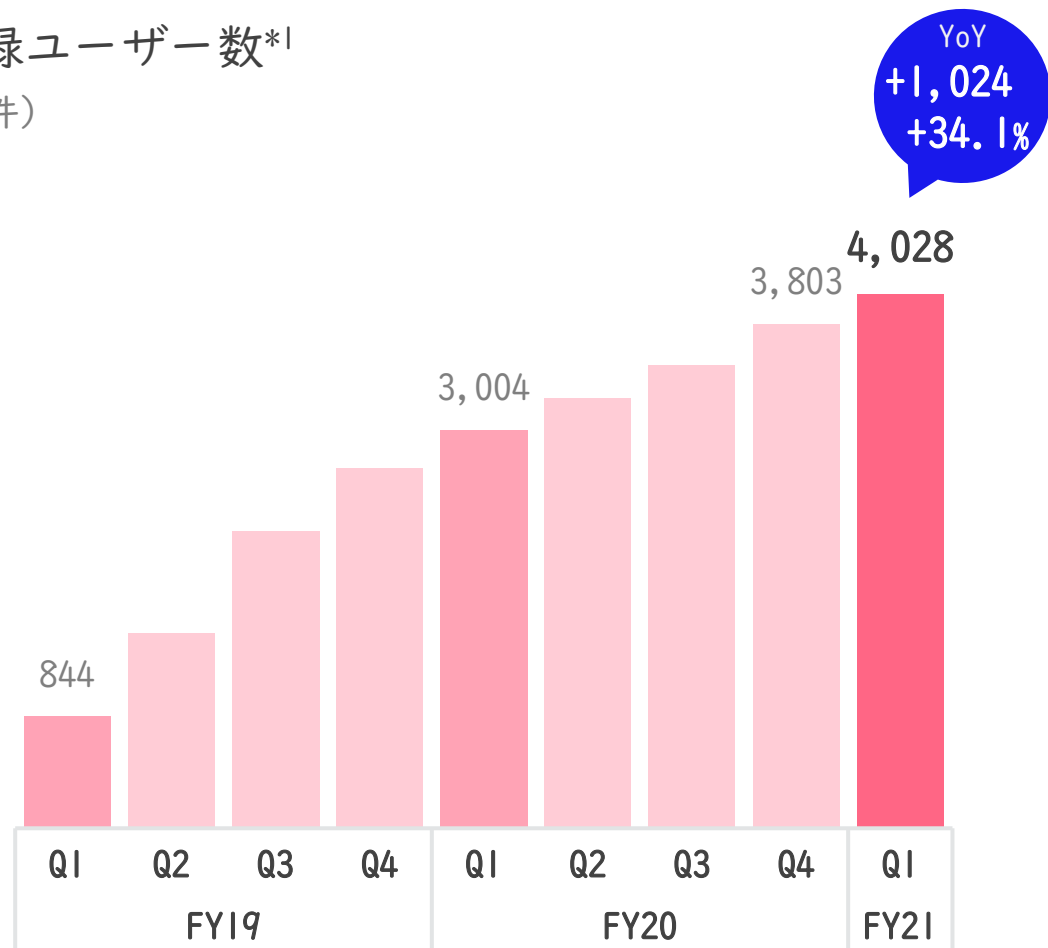
\*1：リユース事業取扱高、ショッピング事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクル(株)におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)を含む

\*2：FY21Q1以降はヤフー広告関連売上収益とLINE広告関連売上収益の合計。コマースに含まれるショッピング広告売上収益とディスプレイ広告、アカウント広告、その他の広告の売上収益を含む

## 登録ユーザー数、加盟店数の拡大は継続

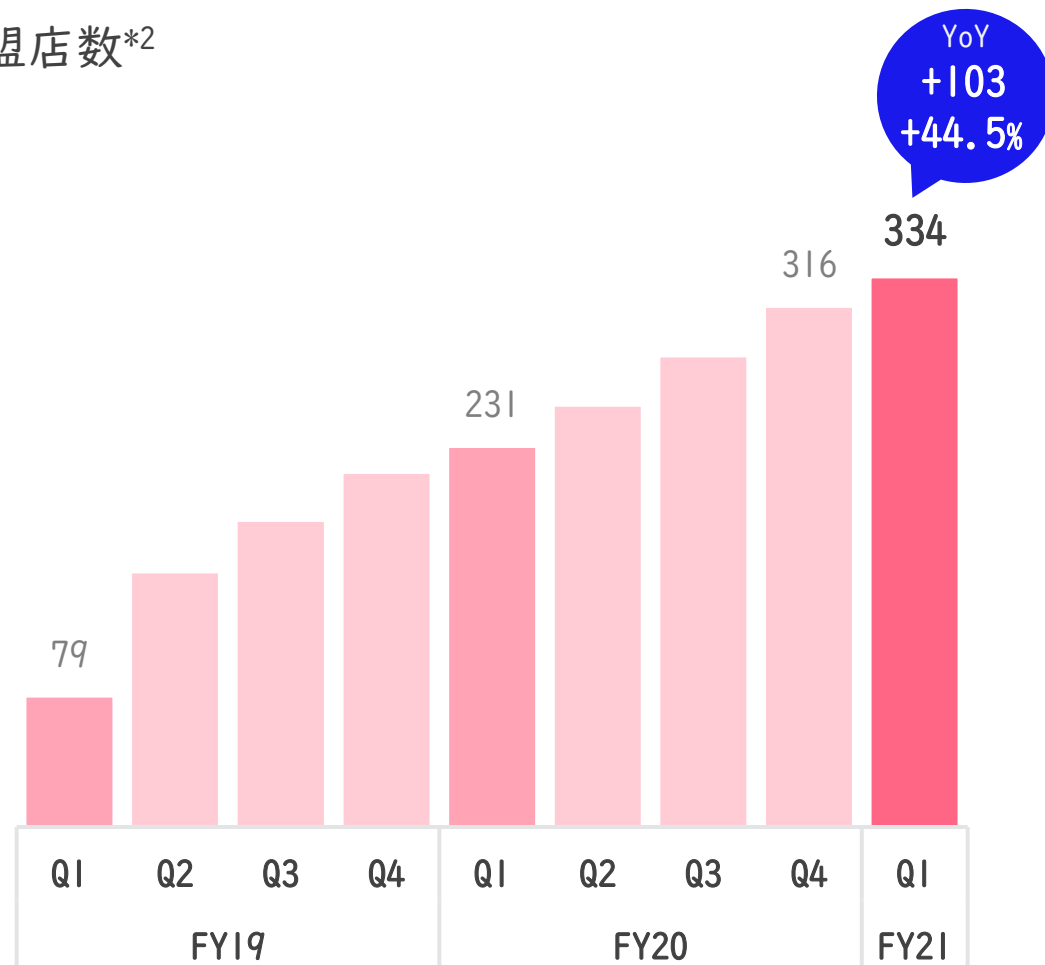
登録ユーザー数\*1

(万件)



加盟店数\*2

(万)



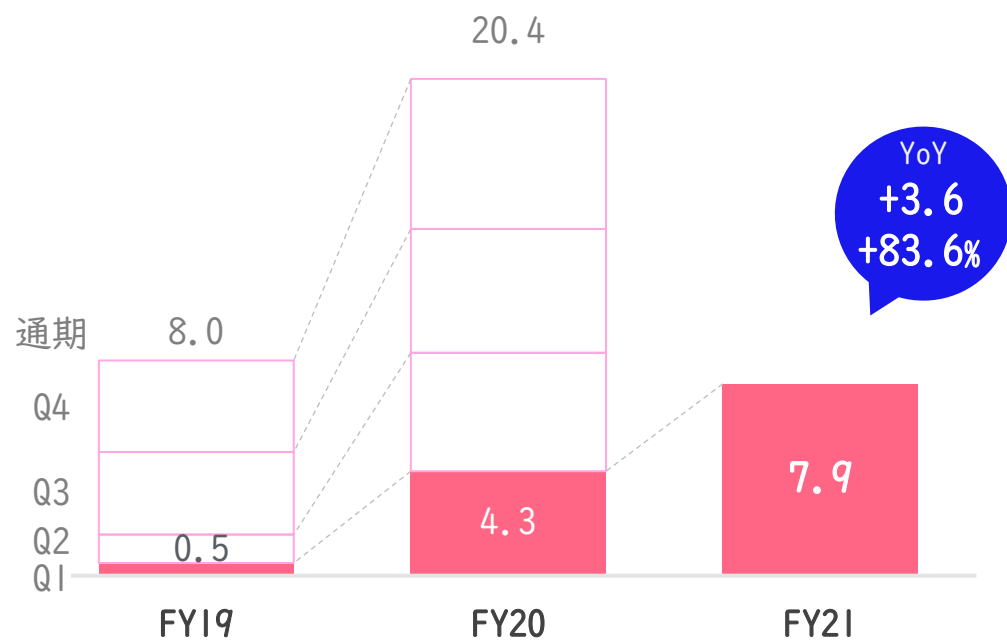
\*1：アカウント登録を行ったユーザー数

\*2：店舗やタクシーなど、PayPayへの加盟契約申込数

## 決済回数、GMVの拡大は継続、年間での成長を見込む

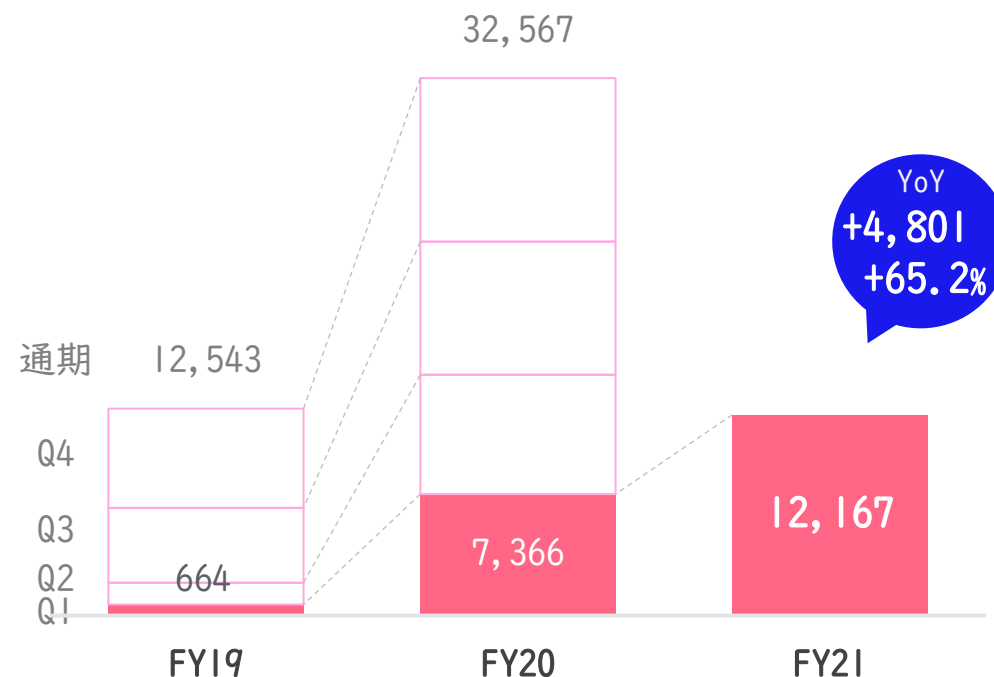
決済回数\*1

(億回)



決済取扱高(GMV)\*2

(億円)



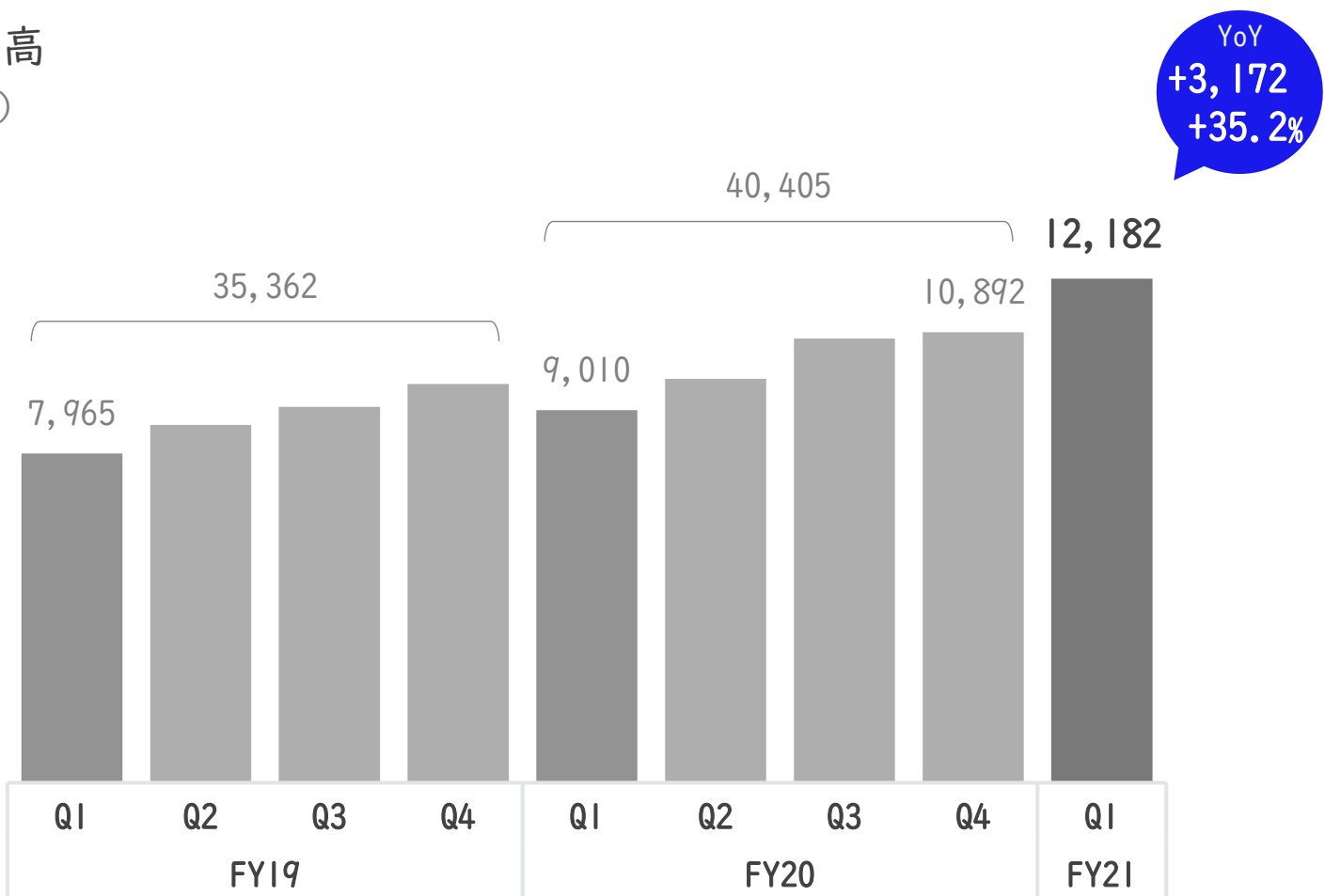
\*1：ユーザー間でのPayPay残高の「送る・受け取る」機能の利用回数や、Alipayアプリを利用しての決済回数は含まない

\*2：「PayPay」による決済総額(個人間送金などを含まない)。FY20通期の数値を修正再表示



## ZOZOへの決済代行サービス提供開始により好調

取扱高  
(億円)



- 2021年3月よりZOZOへ決済代行サービスの提供を開始、取扱高の伸びが加速

- **カーボンニュートラル2030**
  - ✓ 2030年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする宣言を2021年5月に発表
  - ✓ ソフトバンクの温室効果ガス削減目標が国際的気候変動イニシアチブの「SBT」認定取得
- **非地上系ネットワークソリューションのグローバル展開**
  - ✓ Smart Africaとアフリカで低価格ブロードバンドサービスの提供に向けた協業に合意
- **ガバナンスの向上、ダイバーシティの推進**
  - ✓ 社外取締役比率が36%から46%に向上
  - ✓ 女性社外取締役2名が新たに選任され、合計3名に
  - ✓ 「女性活躍推進委員会」を2021年7月に発足。FY35までに女性管理職比率20%を目指す

# APPENDIX

(億円)	FY20Q1	FY21Q1	増減	主な増減要因
売上高	11,726	13,566	+1,839	
売上原価	-5,696	-6,544	-849	
売上総利益	6,031	7,022	+991	
販売費及び一般管理費	-3,231	-4,214	-983	
その他の営業収益	-	23	+23	
営業利益	2,799	2,831	+32	
持分法による投資損益 (- はマイナス)	-93	-90	+3	
金融収益	34	114	+79	FVTPL金融商品から生じる評価益
金融費用	-167	-165	+2	
持分法による投資の売却損益	-	35	+35	
税引前利益	2,574	2,725	+151	
法人所得税	-892	-1,031	-138	税引前利益の増加など
純利益	1,681	1,694	+13	
純利益の帰属				
親会社の所有者	1,521	1,510	-12	
非支配持分	160	184	+25	

（億円）	21年3月末	21年6月末	増減	主な増減要因
資産合計	122,267	123,361	+1,094	
流動資産合計	40,338	40,619	+281	
現金及び現金同等物	15,849	17,241	+1,392	債権流動化や社債発行による調達金額増加
営業債権及びその他の債権	20,822	19,403	-1,419	大型キャンペーン・プロジェクトにより2021年3月末に増加していた売掛金等債権の回収による減少
その他の金融資産	1,449	1,641	+192	
棚卸資産	1,194	1,099	-95	
その他の流動資産	1,024	1,235	+211	
非流動資産合計	81,928	82,742	+814	
有形固定資産	12,517	13,166	+650	通信設備等による増加
使用権資産	10,816	10,008	-808	償却、リースアップ減少等
のれん	12,566	12,665	+99	
無形資産	21,105	20,868	-237	
契約コスト	2,482	2,672	+190	
持分法で会計処理されている投資	2,400	2,634	+234	
投資有価証券	3,213	3,518	+305	
銀行事業の有価証券	3,923	3,780	-142	
その他の金融資産	11,299	11,853	+554	役員への貸付金およびPayPay銀行における住宅ローン等の増加
繰延税金資産	552	491	-61	
その他の非流動資産	1,057	1,087	+30	

（億円）	21年3月末	21年6月末	増減	主な増減要因
負債合計	94,760	96,552	+1,792	
流動負債合計	52,936	52,805	-132	
有利子負債	20,005	23,741	+3,737	法人税や配当支払いのため、債権流動化やコマーシャル・ペーパー等短期ファイナンスが増加
営業債務及びその他の債務	16,240	13,209	-3,032	大型キャンペーン・プロジェクトにより2021年3月末に増加していた営業債務の支払いによる減少や、LINEの株式併合による単元未払株式買い取りに係る未払金の減少
銀行事業の預金	11,656	12,302	+646	PayPay銀行における普通預金の増加
契約負債	1,076	1,063	-14	
その他の金融負債	49	44	-5	
未払法人所得税	1,959	550	-1,409	法人税の支払いによる減少
引当金	177	147	-30	
その他の流動負債	1,774	1,749	-25	
非流動負債合計	41,823	43,747	+1,924	
有利子負債	36,921	38,538	+1,616	ソフトバンクの社債発行1,000億円等
その他の金融負債	340	331	-8	
引当金	1,061	1,106	+45	
繰延税金負債	3,033	3,311	+278	
その他の非流動負債	469	462	-7	

(億円)	21年3月末	21年6月末	増減	主な増減要因
資本合計	27,507	26,809	-698	
親会社の所有者に帰属する持分	15,122	14,595	-528	
資本金	2,043	2,043	-	
資本剰余金	3,403	3,289	-114	
利益剰余金	10,662	10,120	-543	ソフトバンクの配当支払い -2,015億円、FY21Q1純利益 +1,510億円
自己株式	-1,342	-1,228	+114	
その他の包括利益累計額	356	371	+15	
非支配持分	12,385	12,215	-170	

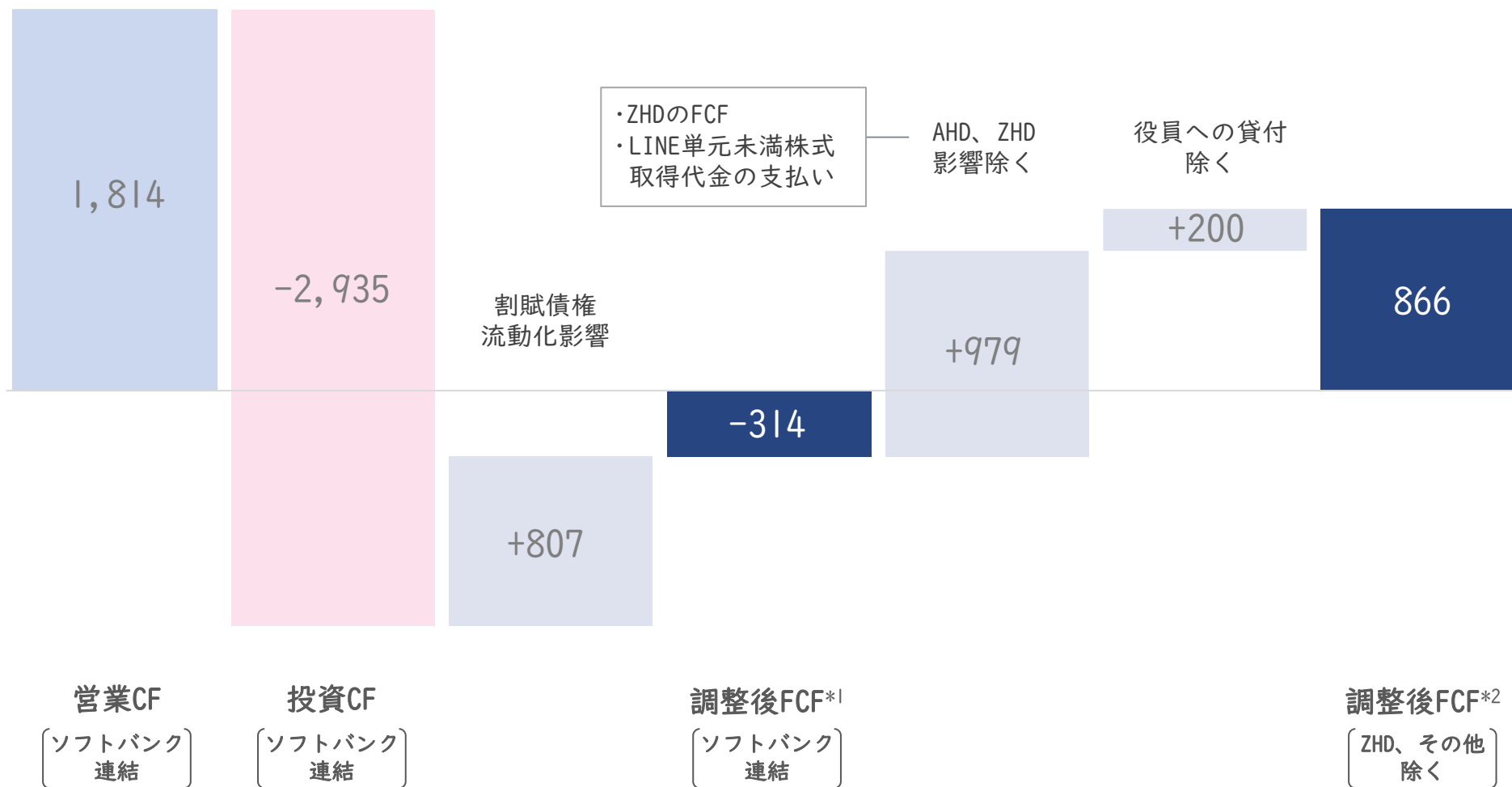
自己資本比率 <sup>*1</sup>	12.4%	11.8%	-0.6%	
資本の総資産に対する割合	22.5%	21.7%	-0.8%	

\*1：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産

(億円)	FY20Q1	FY21Q1	主な増減要因
営業活動によるCF	2,464	1,814	
純利益	1,681	1,694	
減価償却費	1,708	1,828	
ワーキング・キャピタル増減	-262	-567	
利息支払額	-148	-145	
法人所得税の支払額・還付額	-2,702	-2,141	FY20Q1にZHDにおけるグループ会社間の配当に係る源泉所得税の納付があったことによる減少
その他	2,187	1,145	銀行事業における預金や貸付金に係る減少
投資活動によるCF	-1,542	-2,935	
有形固定資産及び無形資産の取得による支出・収入	-1,087	-1,246	
投資の取得による支出・投資の売却または償還による収入	-216	-1,590	LINE株式併合による単元未満株式買い取りに伴う支出
子会社の支配獲得による収支	-91	3	
その他	-148	-102	
財務活動によるCF	2,333	2,506	
有利子負債の収入	6,122	5,471	主に、FY20Q1にZHDが社債を2,000億発行した影響
有利子負債の支出	-4,685	-3,536	主に、FY20Q1にZHDが銀行借入を返済した影響
短期有利子負債の純増減	3,214	2,943	
配当金の支払額	-1,987	-1,985	
非支配持分への配当金の支払額	-266	-196	
その他	-66	-191	
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	7	
現金及び現金同等物の期首残高	11,438	15,849	
現金及び現金同等物の期末残高	14,694	17,241	
調整後FCF	1,792	-314	



(億円)



\*1: 調整後FCF = FCF + (割賦債権の流動化による調達額 - 同返済額)

\*2: ソフトバンクはAHDおよびZHDのFCF、役員への貸付などを除く

2021年6月末時点の関係会社：331社（うち子会社 252社、関連会社\*1 79社）

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
コンシューマ	Wireless City Planning(株)	32.0%	電気通信事業（経済的持分比率：99.5%）
	LINEモバイル(株)	100.0%	電気通信事業
	(株)ウィルコム沖縄	100.0%	電気通信事業
	SBパワー(株)	100.0%	電力の売買業務および売買の仲介業務
	SBモバイルサービス(株)	100.0%	コールセンター事業
法人	(株)IDCフロンティア	100.0%	データセンター事業
	SBエンジニアリング(株)	100.0%	電気通信に関わる構築、運用など
	(株)イーエムネットジャパン	41.4%	インターネット広告事業
流通	SB C&S(株)	100.0%	IT関連製品の流通・販売、IT関連サービスの提供
ヤフー・LINE	Zホールディングス(株)	65.3%	持株会社
	ヤフー(株)	100.0%	EC事業、インターネット上の広告事業
	LINE(株)	100.0%	「LINE」を基盤とするコンテンツサービスや広告、金融サービスの提供
	(株)ZOZO	51.5%	ファッション EC サイトの運営、プライベートブランドの販売、ファッションメディアの運営等
	(株)一休	100.0%	高級ホテルや旅館、厳選レストラン等のインターネット予約サイト運営事業
	ワイジェイカード(株)	100.0%	クレジット、カードローン、信用保証業務
	アスクル(株)	45.0%	オフィス関連商品の販売事業、その他の配送事業
	ワイジェイFX(株)	100.0%	FX(外国為替証拠金)事業
	PayPay銀行(株)*2	46.6%	銀行業
	(株)イーブックイニシアティブジャパン	43.4%	コンテンツの電子化および配信サービス、電子コンテンツの企画開発および制作、書籍や雑誌の編集および出版
バリューコマース(株)	52.0%	広告事業、CRM事業	

\*1：関連会社には共同支配企業を含む

\*2：(株)ジャパンネット銀行は、2021年4月5日より商号をPayPay銀行(株)に変更

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
その他 (子会社)	HAPSモバイル(株)	92.9%	HAPS 事業 に関するネットワーク機器の研究開発・製造
	SBペイメントサービス(株)	100.0%	決済サービス
	SBクラウド(株)	60.0%	パブリッククラウドサービスの販売
	PayPay証券(株)	51.0%	スマートフォン専業の証券業
	SBメディアホールディングス(株)	100.0%	アイティメディア等の株式を保有する持株会社
	アイティメディア(株)	52.5%	IT総合情報サイト「ITmedia」の運営
	SBプレイヤーズ(株)	100.0%	行政向けソリューションサービス
	SBテクノロジー(株) (株)ベクター	53.1% 42.4%	クラウドサービス、セキュリティ運用監視サービス、IoT ソリューションの提供 パソコン用ソフトウェアのダウンロードライセンス販売、広告販売

青：上場企業

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
関連会社	PayPay(株)	50.0%	モバイルペイメント等電子決済サービスの開発・提供
	WeWork Japan合同会社	25.0%	コワーキングスペース提供事業
	(株)Tポイント・ジャパン	34.0%	ポイント管理事業
	(株)J. Score	50.0%	AIスコアを活用したFinTechサービス
	(株)ジーニー	31.2%	マーケティングテクノロジー事業
	サイジニア(株)	30.8%	EC事業者および小売業者向けのパーソナライズ・エンジン「デクワス」を利用したインターネットマーケティング支援サービス

青：上場企業

## 議決権割合

	普通株式 (2021年7月末)	優先株式* <sup>1</sup> 転換後 (FY22以降) + Paytm新株予約権* <sup>2</sup> 行使後	
当社	25%	33.0%	} 66%
Zホールディングス	25%	33.0%	
ソフトバンクグループ	50%	28.5%	
Paytm	—	5.5%	

\*1：2022年4月以降、普通株式に転換可能

\*2：2020年9月末にPaytmへ発行。同月末より権利行使可能

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank